

平成 30 年度(第 81 回)通常総会資料

日時 平成 30 年 2 月 15 日(木曜日) 10:30~11:40
場所 東京都千代田区一ツ橋 2-1-1
如水会館 2 階 オリオンルーム

頁

【監査報告】			1
【平成 29 年度の総括と平成 30 年度の目標】			2
【決議事項】			
第 1 号議案	平成 29 年度決算報告承認の件	定款第 39 条の 1 および 2	3
第 2 号議案	平成 30 年度役員選任の件	定款第 23 条	11
第 3 号議案	名誉会員委嘱の件	定款第 5 条の 5	12
【報告事項】			
報告 1	平成 29 年度事業報告	定款第 39 条の 1 および 2	13
	1. 平成 29 年度通常総会報告		13
	2. 会員動向報告		14
	3. 事業報告(公 1:編集出版事業)		15
	4. 事業報告(公 2:研究会事業)		15
	5. 事業報告(公 3:表彰事業)		25
	6. 事業報告(他 1:共益事業)		27
報告 2	平成 30 年度事業計画	定款第 38 条の 2	30
報告 3	平成 30 年度収支予算	定款第 38 条の 2	33
報告 4	永年会員昇格者	定款第 5 条の 4	36
【参考資料】	(付表 1) 平成 29 年度一般正味財産の構成表		37



公益社団法人 有機合成化学協会

平成 30 年 2 月 15 日

【監査報告】

監査報告書

私たち監事は、平成29年1月1日から平成29年12月31日までの事業年度における理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

平成30年1月22日


公益社団法人有機合成化学協会

監事 味戸 慶一

味戸 慶一 


公益社団法人有機合成化学協会

監事 加藤 昌宏

加藤 昌宏 

公益社団法人有機合成化学協会

監事 高井 和彦

高井 和彦 

以上

平成 29 年度の総括と平成 30 年度の目標

平成 29 年度における各事業の概要、法人管理・運営状況と平成 30 年度の目標について説明する。

【平成 29 年度の課題と取り組み】

本会の持続的な発展には事業価値の向上と適切な情報発信が重要である。そこで平成 29 年度は理事等で構成される二つの分科会を設置し、第一分科会では新規事業の企画、第二分科会ではホームページの見直しを行った。第一分科会で立案され、今年度から始まった法人会員を対象にした「若手リーダーのための YUGOKAFe」は法人企業の若手研究者に研鑽と人的交流の機会を与えることから、法人会員のメリット向上に繋がることが期待される。第二分科会では、ホームページの見直しを議論し、デザインの更新に留まらず利便性や効率性も加味した大幅な見直しを行った。特に学生の関心が高く、学生会員の増強に寄与するものと考え

る。有機合成シンポジウム（春）の地方開催（岡山）は初めての試みだったが、関係者の努力で活況を呈し、成功裡に終わった。学生の発表が身近になったことから、中国・四国地区のみならず関西地区でも学生会員が増え、地方開催の意義を確認した。

また、新しい分野への挑戦も行った。有機合成における AI の利用を学術・技術の両面から探るため、第一回「AI と有機合成化学」講演会を開催し、当該分野の関心の高さを認識した。また、この機運を更に継続し、実のあるものにするため「AI と有機合成化学」研究部会を設立し、来年度から事業委員会の分科会として講習会方式で運営する。

更に、法人会員メリットを高めるため、法人向けパンフレットの作成、講習会での参加費の見直し等の短期的施策も行った。

【編集・出版事業】

有機合成化学協会誌は予定通り 12 号を刊行した。5 月特集号「キラリティー研究の最前線 -合成、機能と分析-」をテーマに、合成に関する総合論文とともに、近年の分析技術・機器に関する実用的な原稿を掲載した（16 編）。また、協会誌の存在を広く告知することを目的に、J-STAGE（電子版）に掲載している巻頭言・Review de Debut・十字路欄をオープンアクセスとした。

【研究会事業】

本部事業では、法人会員メリットを改善するため、講習会で上位等級に会費割引を設定した。また、関西支部主催の第 34 回有機合成化学セミナー（金沢）では、関係者の尽力で活発な討論が随所で見られ、産官学の有意義な交流の場を提供した。

新規事業では、既述の「若手リーダーのための YUGOKAFe」及び「AI と有機合成化学」に関する事業を立ち上げ、本会の研究会事業の基盤強化を図った。

【表彰事業】

平成 29 年度は、本会の表彰が全て揃い、内容的にも非常に高いレベルとなった。企業冠賞は、シオノギ賞、第一三共賞、東ソー賞、日産化学賞、富士フイルム賞の 5 賞となり、高砂香料国際賞「野依賞」、研究企画賞など会員企業の寄付に基づく賞が更に充実し、研究者のモチベーション向上に大きく貢献した。

【相互交流】

本部・支部主催の各種懇談会では会員間の情報交換・交流の場を提供している。新春フォーラムや企業の若手有機合成研究者と学生の交流会も好評である。

【財務環境】

29 年度は、収益 134.4 百万円、費用 132.2 百万円、収支 + 2.2 百万円となった。一方で、会費収入は引き続き減少となり（対前年比 ▲ 1.4 百万円）、対策が必要である。

【新年度目標】

これまで経費の合理化と削減等で財務状況の改善を図ってきたが、今後の持続的な発展には会費収入の底入れと事業収益の改善が必須である。両者は相互に依存するが、会員増強に必要な中長期的な施策を纏める分科会を設置することでこの課題に取り組みたい。

また、協会の生命線としての機能を果たしてきた協会誌についても、現状の課題を検討し、会員の要求に的確に対応できる内容に見直したい。

昨年度に始めた事業は新年度も継続する。有機合成シンポジウム（春）は名古屋開催を計画、また、「AI と有機合成化学」の講演会及び研究部会も計画に則り確実に実施したい。

いずれの課題も相互に関係するものであり、好循環の流れを構築する事が重要である。来年度も理事が中心となり、たゆまぬ努力を続ける決意である。

【決議事項】

第1号議案 平成29年度決算報告承認の件

定款39条に定めるところにより、p.3～10に示す諸表のとおり平成29年度決算書類を承認する。

表1・1 平成29年度正味財産増減計算書

(平成29年1月1日から平成29年12月31日まで)

科目	H29決算 A	H29予算 B	H28決算 C	A-B	A-C
1 【一般正味財産増減の部】					
2 1. 経常増減の部					
3 経常収益	134,391,094	132,971,124	141,285,711	1,419,970	▲ 6,894,617
4 特定資産運用益					
5 特定資産受取利息	802,492	794,000	811,562	8,492	▲ 9,070
6 退職特定資産受取利息	3,306	4,000	3,828	▲ 694	▲ 522
7 受取会費					
8 正会員費受取会費	69,857,000	68,579,274	71,280,430	1,277,726	▲ 1,423,430
9 事業収益	53,386,306	53,814,000	57,549,634	▲ 427,694	▲ 4,163,328
10 編集出版事業収益	15,218,900	15,630,000	16,326,797	▲ 411,100	▲ 1,107,897
11 研究会事業収益	32,667,406	32,834,000	37,322,837	▲ 166,594	▲ 4,655,431
12 表彰事業収益	5,500,000	5,350,000	3,900,000	150,000	1,600,000
13 受取寄付金	5,977,635	6,660,000	6,848,516	▲ 682,365	▲ 870,881
14 共催分担金	1,450,000	1,060,000	1,335,500	390,000	114,500
15 国際賞基金	2,808,089	4,000,000	3,733,762	▲ 1,191,911	▲ 925,673
16 Mukaiyama Award基金	1,501,546	1,600,000	1,651,254	▲ 98,454	▲ 149,708
17 受取一般寄付金	218,000	0	128,000	218,000	90,000
18 雑収益	4,364,355	3,119,850	4,791,741	1,244,505	▲ 427,386
19 受取利息	775	9,850	7,111	▲ 9,075	▲ 6,336
20 雑収益	105,780	100,000	1,507,930	5,780	▲ 1,402,150
21 懇親会参加料収益	4,257,800	3,010,000	3,276,700	1,247,800	981,100
22 経常費用	132,176,109	136,844,433	138,002,582	▲ 4,668,324	▲ 5,826,473
23 事業費および管理費	132,176,109	136,844,433	138,002,582	▲ 4,668,324	▲ 5,826,473
24 編集出版事業費	26,627,855	26,240,855	26,083,745	387,000	544,110
25 研究会事業費	28,108,157	30,113,573	32,109,642	▲ 2,005,416	▲ 4,001,485
26 表彰事業費	10,484,795	12,000,407	10,109,464	▲ 1,515,612	375,331
27 給料手当	29,003,838	28,654,980	31,544,107	348,858	▲ 2,540,269
28 アルバイト費	2,448,302	2,410,000	2,641,050	38,302	▲ 192,748
29 退職給付費用	2,303,306	2,300,000	3,003,828	3,306	▲ 700,522
30 退職金支出	0	3,480,000	0	▲ 3,480,000	0
31 その他人件費（福利厚生費）	5,856,980	6,237,118	6,472,380	▲ 380,138	▲ 615,400
32 懇親会費	7,405,723	6,000,000	6,683,803	1,405,723	721,920
33 会議費	976,105	1,675,000	947,920	▲ 698,895	28,185
34 旅費交通費	4,037,593	3,805,000	3,379,353	232,593	658,240
35 通信費	1,251,384	1,356,000	1,267,647	▲ 104,616	▲ 16,263
36 什器備品費	189,108	170,000	181,440	19,108	7,668
37 事務用品・リース費	2,077,342	1,900,000	2,069,189	177,342	8,153
38 水道光熱費	256,598	290,000	260,645	▲ 33,402	▲ 4,047
39 事務所賃借料	4,367,520	4,367,000	4,367,520	520	0
40 諸謝金	1,197,720	1,100,000	1,095,552	97,720	102,168
41 雑費（税・手数料・会費・IT）	5,583,783	4,744,500	5,785,297	839,283	▲ 201,514
42 当期経常増減額	2,214,985	▲ 3,873,309	3,283,129	6,088,294	▲ 1,068,144
43 2. 経常外増減の部					
44 経常外収益	0	0	0	0	0
45 経常外費用	0	0	0	0	0
46 当期経常外増減額	0	0	0	0	0
47 3. 一般正味財産増減額					
48 一般正味財産期首残高	301,275,969	301,275,969	297,992,840	0	3,283,129
49 一般正味財産期末残高	303,490,954	297,402,660	301,275,969	6,088,294	2,214,985
50 【指定正味財産増減の部】					
51 1. 高砂香料国際賞「野依賞」基金					
52 特定資産運用益計	4,000,030	4,000,400	4,000,386	▲ 370	▲ 356
53 特定資産受取利息	30	400	386	▲ 370	▲ 356
54 受取寄付金	4,000,000	4,000,000	4,000,000	0	0
55 一般正味財産への振替額	▲ 2,808,089	▲ 4,000,000	▲ 3,733,762	1,191,911	925,673
56 当期指定正味財産増減額	1,191,941	400	266,624	1,191,541	925,317
57 指定正味財産期首残高	3,779,272	3,779,272	3,512,648	0	266,624
58 指定正味財産期末残高	4,971,213	3,779,672	3,779,272	1,191,541	1,191,941
59 2. Mukaiyama Award基金					
60 特定資産運用益計	121	1,500	1,517	▲ 1,379	▲ 1,396
61 特定資産受取利息	121	1,500	1,517	▲ 1,379	▲ 1,396
62 受取寄付金	0	0	0	0	0
63 一般正味財産への振替額	▲ 1,501,546	▲ 1,600,000	▲ 1,651,254	98,454	149,708
64 当期指定正味財産増減額	▲ 1,501,425	▲ 1,598,500	▲ 1,649,737	97,075	148,312
65 指定正味財産期首残高	12,005,311	12,005,311	13,655,048	0	▲ 1,649,737
66 指定正味財産期末残高	10,503,886	10,406,811	12,005,311	97,075	▲ 1,501,425
67 【正味財産】					
68 正味財産期末残高	318,966,053	311,589,143	317,060,552	7,376,910	1,905,501

表 1・2 平成 29 年度正味財産増減内訳表(1/3)

(平成29年1月1日から平成29年12月31日まで)

科 目	公益目的事業会計				その他事業	法人会計	合 計
	公1・編集・出版	公2・研究会	公3・表彰	公益事業共通			
【一般正味財産増減の部】							
1. 経常増減の部							
経常収益計	15,223,931	33,654,950	9,304,552	55,187,030	3,860,710	17,159,921	134,391,094
特定資産運用益	5,031	2,544	794,917				802,492
編集出版特定資産受取利息	5,031						
研究会特定資産受取利息		2,544					
表彰特定資産受取利息			794,917				
退職特定資産受取利息						3,306	3,306
受取会費				55,187,030	2,095,710	12,574,260	69,857,000
個人会員費受取会費				29,417,230			37,237,000
法人会員費受取会費				23,407,700			29,630,000
団体会員費受取会費				126,400			160,000
学生会員費受取会費				2,235,700			2,830,000
事業収益	15,218,900	32,202,406	4,200,000		1,765,000		53,386,306
編集出版事業収益	15,218,900						15,218,900
会誌事業収益	4,219,200						4,219,200
広告事業収益	10,241,100						10,241,100
別冊事業収益	178,943						178,943
会誌関係雑収益	36,200						36,200
単行本印税収益	347,175						347,175
複写権使用料収益	196,282						196,282
研究会事業収益		32,202,406			465,000		32,667,406
シンポジウム事業収益		18,169,593					18,169,593
講習会事業収益		10,040,040					10,040,040
懇談会事業収益		3,992,773			465,000		4,457,773
見学会事業収益							
表彰事業収益			4,200,000		1,300,000		5,500,000
企業冠賞事業収益			4,200,000				4,200,000
研究企画賞事業収益					1,300,000		1,300,000
その他表彰事業収益							
寄付金収益		1,450,000	4,309,635			218,000	5,977,635
受取寄付金		1,450,000	4,309,635			218,000	5,977,635
雑収益						4,364,355	4,364,355
受取利息						775	775
雑収益						105,780	105,780
懇親会参加料収益						4,257,800	4,257,800

表 1・3 平成 29 年度正味財産増減内訳表(2/3)

(平成29年1月1日から平成29年12月31日まで)

科 目	公益目的事業会計				その他事業	法人会計	合 計
	公1・編集・出版	公2・研究会	公3・表彰	公益事業共通			
経常費用	45,536,657	50,971,519	15,966,399	0	3,501,034	16,200,500	132,176,109
事業費	45,536,657	50,971,519	15,966,399		3,501,034		115,975,609
編集出版事業費	26,627,855						26,627,855
印刷製本費	12,044,096						12,044,096
用紙費	3,861,918						3,861,918
原稿料・校正費	878,000						878,000
編集費	875,016						875,016
送達費	7,755,514						7,755,514
別冊作成費	277,668						277,668
電子出版費	935,643						935,643
研究会事業費		27,589,932			518,225		28,108,157
シンポジウム費		16,337,722					16,337,722
講習会費		4,537,938					4,537,938
懇談会費		3,713,979			518,225		4,232,204
見学会事業費							
研究会議費		88,934					88,934
事務委託費		2,562,059					2,562,059
支払寄付金		349,300					349,300
表彰事業費			10,327,540		157,255		10,484,795
表彰事業費			2,472,130				2,472,130
企業冠賞費用			3,452,706				3,452,706
研究企画賞費					157,255		157,255
国際賞費用			2,808,089				2,808,089
Mukaiyama Award事業費			1,594,615				1,594,615
給料手当	10,149,025	11,600,377	2,900,094		1,453,963		26,103,459
アルバイト費	951,900	1,088,026	272,006		136,370		2,448,302
退職給付費用	805,974	921,231	230,308		115,465		2,072,978
その他人件費（福利厚生費）	2,049,476	2,342,562	585,640		293,610		5,271,288
会議費	168,165	252,271	56,055		28,053		504,544
旅費交通費	769,001	1,153,618	256,334		128,282		2,307,235
通信費	347,538	521,360	115,846		57,975		1,042,719
什器備品費	56,727	85,099	18,909		9,463		170,198
事務用品・リース費	623,142	934,807	207,714		103,950		1,869,613
水道光熱費	76,973	115,472	25,658		12,840		230,943
事務所賃借料	1,310,125	1,965,384	436,708		218,551		3,930,768
雑費（税・手数料・会費・IT）	1,600,756	2,401,380	533,587		267,032		4,802,755

表 1・4 平成 29 年度正味財産増減内訳表(3/3)

(平成29年1月1日から平成29年12月31日まで)

科 目	公益目的事業会計				その他事業	法人会計	合 計
	公1・編集・出版	公2・研究会	公3・表彰	公益事業共通			
管理費						16,200,500	16,200,500
給料手当						2,900,379	2,900,379
退職給付費用						230,328	230,328
その他人件費 (福利厚生費)						585,692	585,692
懇親会費用						7,405,723	7,405,723
会議費						471,561	471,561
旅費交通費						1,730,358	1,730,358
通信費						208,665	208,665
什器備品費						18,910	18,910
事務用品・リース費						207,729	207,729
水道光熱費						25,655	25,655
事務所賃借料						436,752	436,752
諸謝金						1,197,720	1,197,720
雑費 (税・手数料・会費・IT)						781,028	781,028
当期経常増減額	▲ 30,312,726	▲ 17,316,569	▲ 6,661,847	55,187,030	359,676	959,421	2,214,985
2. 経常外増減の部							
経常外収益	0	0	0	0	0	0	0
計上外費用	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
3. 一般正味財産増減額							
一般正味財産期首残高							301,275,969
一般正味財産期末残高							303,490,954
当期一般正味財産増減額							2,214,985
【指定正味財産増減の部】							
1. 高砂香料国際賞「野依賞」基金							
指定正味財産運用益			1,191,941				1,191,941
特定資産受取利息			30				30
受取寄付金			4,000,000				4,000,000
一般正味財産への振替額			▲ 2,808,089				▲ 2,808,089
指定正味財産期首残高			3,779,272				3,779,272
指定正味財産期末残高			4,971,213				4,971,213
2. Mukaiyama Award基金							
指定正味財産運用益			▲ 1,501,425				▲ 1,501,425
特定資産受取利息			121				121
受取寄付金							
一般正味財産への振替額			▲ 1,501,546				▲ 1,501,546
指定正味財産期首残高			12,005,311				12,005,311
指定正味財産期末残高			10,503,886				10,503,886
【正味財産期末残高】							
正味財産期末残高							318,966,053

【参考】

表 1・5 主な科目の対予算・対前年度決算比較

科 目	29 年度予算との差額(千円)		28 年度決算との差額(千円)		
	収入	費用	収入	費用	
受取会費収入	1,278		▲1,423		
事業	編集・出版	▲411	▲1,108	544	
	研究会	2,233 ^{*1,2}	395 ^{*1}	▲4,655 ^{*3}	▲4,001 ^{*3}
	表彰	▲1,140	▲1,516	525	375
法人運営関連	人件費		10 ^{*1}	▲4,049 ^{*4}	
	会議費・旅費・通信費		▲571	670	
	事務費・諸運営費		261	114	
	懇親会収入／費用	1,248	1,406	981	722
	雑収入／雑費	▲3	839	▲1,408 ^{*5}	▲202 ^{*5}

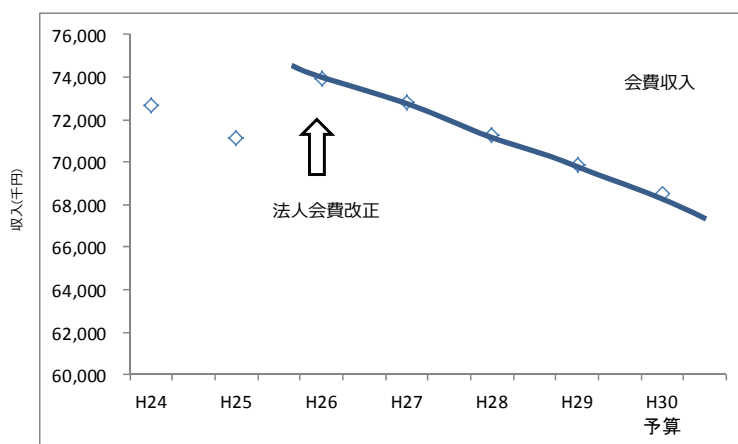
- *1 29 年度予算へ計上したが決算とは乖離のある以下のものを差し引いた。
 - 1) 事業；研究会；海外視察団派遣事業および国内見学会事業は未実施。（収入/費用ともに 2,400 千円）
 - 2) 人件費；退職慰労金を退職給付引当金から充当（単年収支へは計上なし）。
- *2 予算外の実施事業、第 1 回 AI 講演会；YUGOKAFé が寄与。
- *3 有機合成化学セミナー；関東支部シンポジウムの収益減。
- *4 29 年度は常務理事の俸給支払い方法変更。
- *5 28 年度に臨時で行った受託調査(収入 1,200 千円；費用 800 千円)を含む。

表 1・6 支部主要イベントにおける参加者の動向

運営機関	関東支部				関西支部			
	春季シンポジウム		秋季シンポジウム		講習会_2月セミナー		講習会_夏季セミナー	
イベント名称	一般	学生	一般	学生	一般	学生	一般	学生
参加者数								
平成 27 年度	78	118	74	85	72	47	55	53
平成 28 年度	96	223	92	146	89	78	72	40
平成 29 年度	90	155	90	107	72	38	有機合成化学セミナー 担当年度；実施無し	

会費収益の経年変化

平成 28 年度までの会費減収は、主として個人・学生会員の退会によるものである。平成 29 年度の期首では法人会員の退会または等級の見直しによる減収が 100 万円を超えることが明らかとなっていたが、関係各位の入会斡旋のご助力で 14 法人の新規入会があり、法人会費の減収を 30 万円程に抑えることができた。また、学生会員も有機合成シンポジウム（春）の地方開催等が奏功し、平成 24 年度以降はじめて会費がプラスに転じた(16 万円)。しかし、個人会員は引き続き減少が続く前年度比 125 万円の減収となった。



次年度以降に向けて

今後の持続的な発展には会費収入の底入れと事業収益の改善が必要である。両者は相互に依存するが、中長期的な施策を纏め、確実に実行に移すことで好循環の流れを構築したい。

特に、研究会事業収益では半分以上が支部事業によって得られるものであり、本部と並行して支部事業の収益性確保が引き続き重要である。

表 1・7 平成 29 年度貸借対照表

平成29年12月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	103,273,117	98,340,727	4,932,390
未収収益	267,914	244,271	23,643
前払金	658,715	581,477	77,238
立替金	0	0	0
仮払金	100,846	179,280	▲ 78,434
流動資産合計	104,300,592	99,345,755	4,954,837
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
編集出版事業特定資産	24,313,964	25,308,933	▲ 994,969
研究会事業特定資産	29,513,006	29,510,470	2,536
表彰事業特定資産	199,956,989	201,163,570	▲ 1,206,581
国際賞基金	4,971,213	3,779,272	1,191,941
Mukaiyama Award基金	10,503,886	12,005,311	▲ 1,501,425
退職給付引当特定資産	18,209,010	19,385,704	▲ 1,176,694
特定資産合計	287,468,068	291,153,260	▲ 3,685,192
(2) その他固定資産			
差入保証金	4,698,000	4,698,000	0
電話加入権	127,284	127,284	0
その他固定資産合計	4,825,284	4,825,284	0
固定資産合計	292,293,352	295,978,544	▲ 3,685,192
資産合計	396,593,944	395,324,299	1,269,645
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	577,571	0	577,571
前受金	57,511,800	57,303,152	208,648
預り金	1,278,184	1,479,891	▲ 201,707
仮受金	51,326	95,000	▲ 43,674
流動負債合計	59,418,881	58,878,043	540,838
2. 固定負債			
退職給付引当金	18,209,010	19,385,704	▲ 1,176,694
固定負債合計	18,209,010	19,385,704	▲ 1,176,694
負債合計	77,627,891	78,263,747	▲ 635,856
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
国際賞受託金	4,971,213	3,779,272	1,191,941
Mukaiyama Award基金	10,503,886	12,005,311	▲ 1,501,425
指定正味財産合計	15,475,099	15,784,583	▲ 309,484
(うち特定資産への充当額)	(15,475,099)	(15,784,583)	(▲ 309,484)
2. 一般正味財産	303,490,954	301,275,969	2,214,985
正味財産合計	318,966,053	317,060,552	1,905,501
負債及び正味財産合計	396,593,944	395,324,299	1,269,645

表 1・8 平成 29 年度貸借対照表内訳表

平成29年12月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計			その他事業会計	法人会計	合計
	編集・出版事業会計	研究会事業会計	表彰事業会計			
I 資産の部						
1. 流動資産						
現金預金					103,273,117	103,273,117
未収収益		54,000	66,916		146,998	267,914
前払金		421,728	104,594		132,393	658,715
立替金						0
仮払金					100,846	100,846
流動資産合計	0	475,728	171,510	0	103,653,354	104,300,592
2. 固定資産						
(1) 特定資産						
編集出版事業特定資産	24,313,964					24,313,964
研究会事業特定資産		29,513,006				29,513,006
表彰事業特定資産			199,956,989			199,956,989
国際賞基金			4,971,213			4,971,213
Mukaiyama Award 基金			10,503,886			10,503,886
退職給付引当特定資産					18,209,010	18,209,010
特定資産合計	24,313,964	29,513,006	215,432,088	0	18,209,010	287,468,068
(2) その他固定資産						
差入保証金					4,698,000	4,698,000
電話加入権					127,284	127,284
その他固定資産合計	0	0	0	0	4,825,284	4,825,284
固定資産合計	24,313,964	29,513,006	215,432,088	0	23,034,294	292,293,352
資産合計	24,313,964	29,988,734	215,603,598	0	126,687,648	396,593,944
II 負債の部						
1. 流動負債						
未払金					577,571	577,571
前受金					57,511,800	57,511,800
預り金					1,278,184	1,278,184
仮受金					51,326	51,326
流動負債合計	0	0	0	0	59,418,881	59,418,881
2. 固定負債						
退職給付引当金					18,209,010	18,209,010
固定負債合計	0	0	0	0	18,209,010	18,209,010
負債合計	0	0	0	0	77,627,891	77,627,891
III 正味財産の部						
1. 指定正味財産						
国際賞受託金			4,971,213			4,971,213
Mukaiyama Award 基金			10,503,886			10,503,886
指定正味財産合計			15,475,099			15,475,099
(うち特定資産への充当額)			(15,475,099)			(15,475,099)
2. 一般正味財産	24,313,964	29,988,734	200,128,499	0	49,059,757	303,490,954
正味財産合計	24,313,964	29,988,734	215,603,598	0	49,059,757	318,966,053
負債及び正味財産合計	24,313,964	29,988,734	215,603,598	0	126,687,648	396,593,944

1. 特定資産の明細

表 1・9 附属明細書

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
特定資産	編集出版事業特定資産	25,308,933	5,031	1,000,000	24,313,964
	研究会事業特定資産	29,510,470	2,536	0	29,513,006
	表彰事業特定資産	201,163,570	793,419	2,000,000	199,956,989
	国際賞基金	3,779,272	4,000,030	2,808,089	4,971,213
	Mukaiyama Award 基金	12,005,311	121	1,501,546	10,503,886
	退職給付引当特定資産	19,385,704	2,303,306	3,480,000	18,209,010
	特定資産計	291,153,260	7,104,443	10,789,635	287,468,068

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	19,385,704	2,303,306	3,480,000	0	18,209,010

表 1・10 財産目録

平成29年12月31日現在

貸借対照表科目	場所・物量等		使用目的等	金額 (円)
1 【流動資産】				
2 預金	振替貯金		運転資金	2,315,243
3 普通預金	みずほ銀行神田支店		運転資金	66,553,380
4 普通預金	みずほ銀行神田支店		運転資金	3,558,109
5 普通預金	みずほ銀行神田支店		運転資金	50,001
6 普通預金	三井住友信託銀行本店営業部		運転資金	2,254,534
7 普通預金	三菱UFJ信託銀行上野支店		運転資金	144,450
8 普通預金	北海道支部		運転資金	3,649,143
9 普通預金	東北支部		運転資金	4,100,813
10 普通預金	関東支部		運転資金	9,058,279
11 普通預金	東海支部		運転資金	2,090,217
12 普通預金	関西支部		運転資金	4,884,037
13 普通預金	中国四国支部		運転資金	1,690,623
14 普通預金	九州山口支部		運転資金	2,924,288
15 未収収益				267,914
16 前払金				658,715
17 立替金				0
18 仮払金	現金	手元保管	運転資金	100,846
19 流動資産合計				104,300,592
20 【固定資産】				
21 特定資産				
22 編集事業特定資産	普通預金	三井住友信託銀行本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を編集・出版事業の財源として使用している	2,088,706
23 普通預金	みずほ銀行神田支店		公益目的保有財産であり、運用益を編集・出版事業の財源として使用している	2,225,258
24 定期預金	みずほ銀行神田支店		公益目的保有財産であり、運用益を編集・出版事業の財源として使用している	10,000,000
25 定期預金	三井住友信託銀行本店営業部		公益目的保有財産であり、運用益を編集・出版事業の財源として使用している	10,000,000
26 研究会事業特定資産	普通預金	みずほ銀行神田支店	公益目的保有財産であり、運用益を研究会事業の財源として使用している	4,513,006
27 定期預金	みずほ銀行神田支店		公益目的保有財産であり、運用益を研究会事業の財源として使用している	25,000,000
28 表彰事業特定資産	普通預金	三井住友信託銀行本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	1,698,821
29 普通預金	三菱UFJ信託銀行上野支店		公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	5,258,168
30 定期預金	三井住友信託銀行本店営業部		公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	3,000,000
31 定期預金	三井住友信託銀行本店営業部		公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	20,000,000
32 第326回利付国債			公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	100,000,000
33 東京都公債第2回			公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	50,000,000
34 千葉市平成29年度第3回公債			公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	20,000,000
35 退職給付引当資産	普通預金	三井住友信託銀行本店営業部		2,549,010
36 定期預金	三井住友信託銀行本店営業部			15,660,000
37 国際賞基金	普通預金	みずほ銀行神田支店	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	4,971,213
38 Mukaiyama Award基金	普通預金	みずほ銀行神田支店	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	10,503,886
39 その他固定資産	差入保証金			4,698,000
40	電話加入金			127,284
41 固定資産合計				292,293,352
42 資産合計				396,593,944
43 【流動負債】				
44 未払金				577,571
45 前受金				57,511,800
46 預り金				1,278,184
47 仮受金				51,326
48 流動負債合計				59,418,881
49 【固定負債】				
50 退職給付引当金				18,209,010
51 固定負債合計				18,209,010
52 負債合計				77,627,891
53 正味財産				318,966,053

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準および評価方法 満期保有目的債券 償却原価法（定額法）
- (2) 固定資産の減価償却の方法 法人税法に基づき一定額以下は費用処理している。
- (3) 引当金の計上基準
退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。
- (4) リース取引の処理方法
ファイナンスリース：リース物件の所有権が借主に移転するを認められる以外のファイナンスリース取引については通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理 消費税および地方消費税の会計処理は税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額およびその残高

特定資産の増減額およびその残高は、次のとおりである。(単位：円)

表 1・11 特定資産の増減額およびその残高

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
編集出版事業特定資産	25,308,933	5,031	1,000,000	24,313,964
研究会事業特定資産	29,510,470	2,536	0	29,513,006
表彰事業特定資産	201,163,570	793,419	2,000,000	199,956,989
国際賞基金	3,779,272	4,000,030	2,808,089	4,971,213
Mukaiyama Award 基金	12,005,311	121	1,501,546	10,503,886
退職給付引当特定資産	19,385,704	2,303,306	3,480,000	18,209,010
合 計	291,153,260	7,104,443	10,789,635	287,468,068

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。(単位：円)

表 1・12 特定資産の財源等の内訳

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
編集出版事業特定資産	24,313,964	0	24,313,964	
研究会事業特定資産	29,513,006	0	29,513,006	
表彰事業特定資産	199,956,989	0	199,956,989	
国際賞基金	4,971,213	4,971,213	0	
Mukaiyama Award 基金	10,503,886	10,503,886	0	
退職給付引当特定資産	18,209,010	0	0	18,209,010
合 計	287,468,068	15,475,099	253,783,959	18,209,010

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価および評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価および評価損益は、次のとおりである。(単位：円)

表 1・13 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価および評価損益

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
国債	100,000,000	104,010,500	4,010,500
地方債	70,000,000	69,966,610	▲ 33,390
合 計	170,000,000	173,977,110	3,977,110

5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。(単位：円)

表 1・14 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

内 容	金 額
経常収益への振替額	
国際賞事業費計上による振替額	2,808,089
MukaiyamaAward事業費計上による振替額	1,501,546
合 計	4,309,635

第2号議案 平成30年度役員選任の件

本総会の終結をもって役員14名が退任となるので、定款23条に定めるところにより、役員候補者選出委員会において選出された役員候補者(表2)を参考にして、退任役員の後任として新任および重任役員(理事・監事；太字表記13名)を選任する。

表2 平成29年度役員および平成30年度役員候補者対照表

役職区分	平成30年度				
	平成29年度(参考)		新任候補	重任候補	新・重任候補者所属
	退任	留任			
会長・代表理事		吉田 潤一			
副会長・業務執行理事		山川 一義			
副会長・業務執行理事	岩澤 伸治			砂塚 敏明	北里大学
副会長・業務執行理事	岡田 稔			田上 克也	イーザイ(株)
常務理事(事務局長)		岡村 眞延			
理事(編集担当)		菅 敏幸			
理事(編集担当)			垣内 史敏		慶應義塾大学
理事(事業担当)		林 亮司			
理事(事業担当)				柳澤 章	千葉大学
理事		秋山 隆彦			
理事		市川 淳士			
理事	辻 尚志				
理事			生頼 一彦		日産化学工業(株)
理事				佐用 昇	高砂香料工業(株)
理事	宮地 克明		設楽 永紀		Meiji Seika ファルマ(株)
理事	宮田博之		満田 勝		(株)カネカ
理事(北海道支部)		佐藤 美洋			
理事(東北支部)	土井 隆行			林 雄二郎	東北大学
理事(関東支部)		松村 靖			
理事(関東支部)			須貝 威		慶應義塾大学
理事(東海支部)		岩佐 精二			
理事(関西支部)		笹井 宏明			
理事(関西支部)	森 敦紀		大江 浩一		京都大学
理事(中国四国支部)		宇野 英満			
理事(九州山口支部)	徳永 信		大嶋 孝志		九州大学
監事		加藤 昌宏			
監事		高井 和彦			
監事	味戸 慶一		辻 尚志		(株)ニイタカ
人数	9	14	8	5	

第3号議案 名誉会員委嘱の件

定款第5条第5項および名誉会員の委嘱に係る内規2の2に定めに基づき、以下の会員に名誉会員を委嘱する。本案は平成29年12度理事会で名誉会員としての推薦を決議した。

中西 香爾 氏 (コロンビア大学名誉教授)

平成29年度有機合成化学特別賞受賞 1925年5月1日生(満92歳)

定款第5条第5項

名誉会員はこの法人に特に功労のあった個人で、理事会が推薦し、かつ総会の承認を経たものとする。

名誉会員の委嘱に係る内規2の2

次の各項に該当する者は理事会の推薦および総会の議決により、会長が名誉会員に委嘱する。

- (1) 会長ならびに会長経験者であって、総会開催当日満70歳に達している者
- (2) 本会特別賞受賞者であって、総会開催当日満70歳に達している者
- (3) 本会特別賞受賞者であって、会長経験者
- (4) ノーベル賞またはこれに匹敵する業績を有し、わが国の有機合成化学の発展に寄与した者

【参考】

表3 名誉会員一覧(平成30年2月15日現在、委嘱年月日順)

No.	氏名	勤務先役職 or 称号(委嘱当時)	委嘱年月日	生年月日	会長	特別賞
1	野崎 一	京都大学名誉教授	1993.02.16	1922.01.01	85-86	1992
2	E. J. Corey	ハーバード大学教授	1993.02.16	1928.07.12		ノーベル賞
3	向山 光昭	東京大学名誉教授、北里研究所	1995.02.21	1927.01.05	89-90	1993
4	浦 康一	元日産化学工業(株)常務取締役	2000.02.22	1929.10.26	95-96	
5	辻 二郎	東京工業大学名誉教授	2000.02.22	1927.05.11		1998
6	野依 良治	理化学研究所理事長	2002.02.19	1938.09.03	97-98	2000
7	吉田 善一	京都大学名誉教授	2003.02.18	1925.08.19		2001
8	森 謙治	東京大学名誉教授	2004.02.18	1935.03.21	93-94	2002
9	鈴木 章	北海道大学名誉教授	2005.02.24	1930.09.12		2003
10	平岡 哲夫	元三共有機合成(株)代表取締役社長	2006.02.23	1935.08.05	03-04	
11	村井 眞二	大阪大学名誉教授	2006.02.23	1938.08.24	01-02	2004
12	村橋 俊一	大阪大学名誉教授	2008.02.20	1937.05.12		2006
13	伊東 椒	東北大学名誉教授	2008.02.20	1924.12.15		2007
14	岸 義人	ハーバード大学名誉教授	2010.02.19	1937.04.13		2009
15	中井 武	東京工業大学名誉教授	2011.02.18	1940.08.30	05-06	
16	根岸 英一	パデュー大学特別教授	2011.02.18	1935.07.14		ノーベル賞
17	白濱 晴久	北海道大学名誉教授	2012.02.17	1930.06.28		2011
18	竜田 邦明	早稲田大学名誉教授・荣誉フェロー	2013.02.19	1940.12.01		2012
19	玉尾 皓平	京都大学名誉教授	2014.02.20	1942.10.31		2013
20	山本 尚	シカゴ大学名誉教授	2014.02.20	1943.07.16		2013
21	迫田 良三	元日産化学工業(株)副社長	2014.02.20	1943.08.24	07-08	
22	大村 智	北里大学特別荣誉教授	2016.02.18	1935.07.12		ノーベル賞
23	桑嶋 功	東京工業大学名誉教授	2016.02.18	1937.11.11		2015
24	蘭頭 健吉	大阪市立大学名誉教授	2017.02.16	1931.12.5		2016

その他

議案があれば挙手の上、提議してください。

【報告事項】

報告 1 平成 29 年度事業報告（平成 29 年 1 月 1 日から平成 29 年 12 月 31 日まで）

1. 平成 29 年度通常総会(第 80 回)

- ✓ 平成 29 年 2 月 16 日 如水会館にて開催
- ✓ 構成員(代議員)100 名中、出席者 94 名(本人出席 23 ; 代理人出席 0 ; 委任状・書面表決 71)
- ✓ 決議事項
 - 第 1 号議案 『平成 28 年度決算報告承認』の件
 - 第 2 号議案 『平成 29 年度役員選任』の件
 - 第 3 号議案 『名誉会員委嘱』の件
 - 第 4 号議案 『常勤役員報酬』の件
- ✓ 報告事項
 - 報告 1. 『平成 28 年度事業報告』
 - 報告 2. 『平成 29 年度事業計画報告』
 - 報告 3. 『平成 29 年度収支予算報告』
 - 報告 4. 『永年会員昇格者報告』

2. 会員動向

表4 会員動向

区分		H28末	入会	復活	退会	区分変更		異動計	H29末
普通会員	個人	3,840	75	3	▲257	75	▲17	▲121	3,719
	法人	209	14		▲5			9	218
	団体	3							3
普通会員計		4,052	89	3	▲262	75	▲17	▲112	3,940
永年会員		219			▲15	17	▲1	1	220
名誉会員		22				1		1	23
学生会員		574	230	1	▲114		▲75	42	616
合計		4,867	319	4	▲391			▲68	4,799

3. 事業報告

平成29年度に実施した編集出版、研究会、および表彰の各事業について、表5のとおり報告する。

公1・編集出版事業(15頁)

公2・研究会事業

シンポジウム

本部(15頁)

北海道支部(15頁)

東北支部(16頁)

関東支部(18頁)

東海支部(18頁)

関西支部(19頁)

中国四国支部(20頁)

九州山口支部(20頁)

講習会

本部(20頁)

関西支部(21頁)

懇談会

本部(21頁)

関東支部(22頁)

東海支部(23頁)

関西支部(24頁)

中国四国支部(24頁)

九州山口支部(25頁)

見学会

九州山口支部(25頁)

公3・表彰事業

有機合成化学特別賞(25頁)

有機合成化学協会賞・奨励賞(25頁)

Mukaiyama Award(26頁)

Lectureship Award(26頁)

企業冠賞(26頁)

高砂香料国際賞「野依賞」(26頁)

支部表彰 関西支部(27頁)

中国四国支部(27頁)

九州山口支部(27頁)

他1・共益事業

ゆうごう会(27頁)

研究企画賞(27頁)

表 5・1 平成 29 年度事業報告 (その 1)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
公 1・編集出版事業	
有機合成化学協会誌	
<p>第 75 巻第 1 号～12 号(12 冊)、発行部数 5,400 部(除く第 11 号)、5,800 部(第 11 号)、総頁数 1,322 普通号 10 回；特集号(第 5 号「キラリティー研究の最前－合成、機能と分析－」；第 11 号 Special Issue in English) 掲載内容：巻頭言 12 頁(12 件)、総説 20(2)、総合論文 791(73)、Review de Debut 40(20)、ラウンジ 22(4)、ケミカルズ覚え書き 13(3)、十字路 11(44)、新しい合成 62(248)、会告・協会記事等 289、広告 175 (独)科学技術振興機構が運用する電子ウェブサイト(J-STAGE)に 2017 年度分を掲載。</p>	
単行本の編集・出版	
「企業研究者たちの感動の瞬間」有機合成化学協会・日本プロセス化学会 編 化学同人	
公 1 関連会議	
有機合成化学協会誌編集委員会(1/23, 3/23, 5/26, 7/21, 9/27,11/13)	
公 2・研究会事業	
シンポジウム【本部】	
<p>第 111 回有機合成シンポジウム；6/8～6/9 岡山大学創立五十周年記念館・金光ホール；世話人：中国四国支部 依馬正 口頭研究発表 41 件；ポスター発表 65 件 合計 106 件 [優秀ポスター賞] 6 件表彰 共催：日本化学会；日本薬学会；日本農芸化学会</p>	283(154)
<p>第 112 回有機合成シンポジウム；12/6～12/7；早稲田大学国際会議場／大隈記念講堂 [受賞講演] 企業冠賞受賞講演 3 件 ☆第一三共・創薬有機化学賞 「高次構造を有するフラボノイド系ポリフェノールの合成研究と機能開拓」(東工大理) 大森建 ☆日産化学・有機合成新反応／手法賞 「イミダゾリン、イミダゾリジン、そしてアミノフェノール：不斉触媒の探索と設計」(千葉大院理) 荒井孝義 ☆富士フイルム・機能性材料化学賞 「機械的刺激を感知する分子ドミノ相転移型発光性金錯体」(北大院工) 伊藤肇 口頭・ポスター発表 39 件；ポスター発表 16 件 合計 55 件 [優秀ポスター賞]4 件表彰 共催：日本化学会；日本薬学会；日本農芸化学会 後援：早稲田大学理工学研究所</p>	198(86)
<p>第 50 回酸化反応討論会；11/11～11/12；神奈川大学横浜キャンパス 招待講演 2 件、一般口頭発表 23 件、ポスター発表 38 件 主催：第 50 回酸化反応討論会実行委員会 共催：有機合成化学協会、日本化学会、日本薬学会、日本農芸化学会、錯体化学会、触媒学会</p>	134(55)
<p>第 47 回複素環化学討論会；10/26～10/28；高知県立県民文化ホール/三翠園 一般口頭発表 58 件、ポスター発表 125 件 主催：第 47 回複素環化学討論会実行委員会 共催：有機合成化学協会、日本化学会、日本薬学会、日本農芸化学会、高知化学会</p>	335(148)
<p>第 50 回有機金属若手の会・夏の学校；8/7～8/9；定山溪万世閣ホテルミリオネ(北海道) 招待講演 3 件、依頼講演 7 件、若手講演 3 件、ポスター発表 119 件 主催：有機金属若手研究者の会 共催：有機合成化学協会、近畿化学協会；協賛：日本化学会</p>	207(188)
シンポジウム【北海道支部】	
<p>第 29 回万有札幌シンポジウム；7/1；北海道大学 招待講演 5 件、ポスター発表 21 件 1.クロスカップリングを利用するフェナセン型分子の合成と電子エネルギーデバイスへの応用 (岡山大基礎研) 西原康師 2.効率的遺伝子発現制御を目指した核酸をテンプレートにした選択的化学反应の開発 (東北大多元研) 永次史</p>	

表 5・2 平成 29 年度事業報告 (その 2)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
<p>前ページからの続き 3.タキソールの合成研究 (慶大理工) 千田憲孝 4.有機触媒の複合組織化を利用した新たな立体制御法の開発 (京大院薬) 竹本佳司 5.結合活性化法の創製と新規触媒反応への応用 (阪大院工) 茶谷直人 主催: 万有札幌シンポジウム組織委員会 共催他団体: 北海道大学大学院工学研究院フロンティア化学教育研究センター、日本化学会北海道支部</p>	360(298)
<p>日本化学会北海道支部 2017 年 夏季研究発表会; 7/22; 旭川工業高等専門学校 特別講演 2 件 1.連鎖 DNA の折り畳み その物理化学と生命科学・医学への展開 (旭川医大医学部化学) 秋田谷龍男 2.機能電極を用いた生物電気化学の展開 (日本化学会筆頭副会長・(独)国立高等専門学校機構 理事長) 谷口功 一般口頭発表 90 件 主催: 日本化学会北海道支部 共催他団体: 日本分析化学会・高分子学会・触媒学会・日本エネルギー学会・石油学会の各北海道支部、日本セラミックス協会東北・北海道支部</p>	170(90)
<p>第 41 回有機電子移動化学討論会; 6/22~23 特別講演 2 件: 1.単一分子メモリユニットとしての動的酸化還元系: 発想とプロトタイプ構築 (北大院理) 鈴木孝紀 2.有機無機ハイブリッド太陽電池の現状と展望—固体における有機電子移動— (静岡大工) 昆野昭則 受賞講演 2 件: 1.光励起電子移動反応の解析と有機電子デバイスのための材料合成への応用 (阪府大院工) 松井康哲 2.有機電解合成を活用する生物活性物質の合成 (慶大・慶應工学会) 西山繁 一般口頭発表 29 件、ポスター発表: 29 件 主催: 電気化学会有機電子移動化学研究会、北海道大学大学院工学研究院応用化学部門反応有機化学研究室、北海道大学触媒科学研究所光触媒科学研究部門 共催他団体: 日本化学会、同北海道支部、電気化学会北海道支部、北海道大学大学院工学研究院フロンティア化学教育研究センター</p>	96(43)
<p>第 13 回有機電子移動化学若手の会; 6/23~24 招待講演 5 件 1.電解生成活性種の化学と高速触媒反応 (岡山大院自然) 菅誠治 2.レドックス化学の発展に資するバイポーラ電気化学 (東工大理工) 稲木信介 3.らせん伸縮に着目した置換ポリアセチレンの構造解析 (室蘭工大院工) 馬渡康輝 4.有機電子移動化学に関する研究と単純な動機と偶然の重なり (浜松医大) 黒野暢仁 5.金属錯体と光及び電解レドックスシステムを融合化したバイオインスパイアード物質変換(九大院工) 鳥越恒 主催: 電気化学会有機電子移動化学研究会 共催他団体: 日本化学会北海道支部</p>	50(32)
<p>若手研究者のための有機化学札幌セミナー; 11/28; 北海道大学 1.縮環α拡張反応の開発とナノグラフェン・グラフェンナノリボン合成 (名大教養) 伊藤英人 2.ベルカロールの全合成 (北大院総合化) 土門大祐 3.天然物合成からはじまる創薬/ケミカルバイオロジー研究への展開 (北大院薬) 薬師寺文華 4.アンビデントの反応性コントロール: 触媒的イソシアノ化反応の開発 (北大院工) 百合野大雅 5.配座制御を基盤とした機能性ペプチドの開発 (北大院薬) 渡邊瑞貴 以上の 5 名の演者による招待講演 主催: 有機合成化学協会北海道支部; 共催: 有機合成化学協会</p>	194(166)
シンポジウム【東北支部】	
<p>第 28 回万有仙台シンポジウム; 6/24; 仙台国際センター 1.中分子環状ペプチドの有機合成から多様な生物活性への展開 (東北大院薬) 土井隆行 2.ハーバー・ボッシュ法を超えるアンモニア合成法への挑戦 (東大院工) 西林仁昭 3. Process Chemistry of HCV NS5A Inhibitor (Merck & Co., Inc) 伊東哲志 4.反応集積化を利用した糖鎖合成と免疫調節への応用 (阪大院理) 深瀬浩一</p>	345(244)

表 5・3 平成 29 年度事業報告 (その 3)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
<p>前ページからの続き 5. トポロジカル結合分子を合成する一分子スイッチ, 分子モーター, 生理活性, そして分子トポロジー変換 — (東工大物質理工) 高田十志和</p>	
<p>仙台地区春の講演会; 5/27; 東北大学大学院薬学研究科 1. 「大村天然物の可能性を引き出す有機合成化学の醍醐味」(北里大) 砂塚敏明 2. 「フッ素化学工業原料を用いた含フッ素化合物合成反応」(旭硝子) 森澤義富 3. 「二官能基型パーフルオロアルキル化反応の開発」(理研) 袖岡幹子</p>	144(107)
<p>化学系学協会東北大会; 9/16~9/17; 岩手大学理工学部 【特別講演】 1. 「カーボンナノチューブ研究開発の現状」(名城大院)飯島澄男 2. 「生物電気化学のための機能電極の開発とその応用」(日本化学会, 国立高等専門学校機構)谷口功 3. 「セレンディビティーを知っていますか? ~導電性高分子の発見と開発~」(筑波大名誉)白川英樹 【有機系講演】 有機化学セッション 「Studies on the synthesis and characterization of star-shaped D-π-A molecules with a nitrogen-containing heteroaromatic core」(岩手大理工)村岡宏樹 「Synthesis and application of fluorescent tryptanthrin derivatives」(弘前大院理工)川上淳 「Photochemical synthesis of multi-layered helicenes and the subsequent domino reactions」(山形大理)村瀬隆史 「Pot economy and time economy in the synthesis of biologically active molecules」(東北大院理)林雄二郎 有機化学コロキウム 「パラジウムナノクラスター触媒を用いる方向族ポリケトン耐熱素材の開発」(山形大院有機)前山勝也 「Rational design of reaction condition for the formation of glycosidic linkage catalyzed by glycosyl hydrolase: A case of α-amylase」(日大工)小林厚志 「Synthesis of multicyclic natural product」(横浜薬大薬)庄司満 「Activity directed total synthesis of natural product and their analogues」(東北大院薬)土井隆行 その他講演 43 件、ポスター発表 290 件 共催: 日本化学会, 高分子学会, 日本分析化学会, 化学工学会, 電気化学会, 日本材料学会の各東北支部, 繊維学会東北北海道支部, 無機マテリアル学会北部支部</p>	677(446)
<p>岩手地区講演会; 7/13; 岩手大学理工学部 「分子の形と動きを制御し, 新機能物質を創製する」(東工大)高田十志和 「配位子の電子密度と相互作用を制御し, 高性能触媒を開発する」(岩手大)是永敏伸</p>	61(55)
<p>第 32 回有機合成化学若手研究者の仙台セミナー; 11/25; 東北大学大学院薬学研究科 1. 「分子内にカルボニル基を有する共役エンイン, ジン化合物のアンチ Wacker 型環化反応」(東北大院薬)伊藤和也 2. 「提唱生成経路を模倣した delitschapyrone A の全合成」(東北大院農)倉沢一輝 3. 「キラルプレンステッド酸触媒による第四級不斉中心の構築を指向した分子内 S_N2' 反応の開発と機構研究」(東北大院理)清水雅大 4. 「オキシメチレンヘリセンオリゴマーの合成と擬鏡像異性体混合物による機械的刺激応答自己組織化」(東北大院薬)澤藤司 5. 「Callipeltin Q の全合成」(山形大院理工)東海林由憲 6. 「新規アミン触媒 N,N-ジメチル-1-アミノアダマンタンの発見—触媒的 Kornblum-DeLamare 反応への適用」(東北大院薬)久我哲也 7. 「ゴニオドミン A の全合成研究」(東北大院生命科学)川島悠岐 8. 「ベンゾシクロブテンオキシムスルホナートの環拡大反応を活用したインドールの新規合成法および天然物合成への応用」(東北大院薬)坂田樹里 9. 「銅触媒によるオルト置換 N-アルコキシアニリンのドミノ転位反応」(東北大院理)石田恭裕</p>	153(126)

表 5・4 平成 29 年度事業報告 (その 4)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
シンポジウム【関東支部】	
第 73 回有機合成化学協会関東支部シンポジウム(目白シンポジウム) ; 5/20 ; 学習院大学目白キャンパス 特別講演 2 件、一般講演 75 件 1.「フッ素置換基の特性を活用する炭素-フッ素結合の活性化」(筑波大数理物質) 市川淳士 2.「生命科学研究に用いるプローブ創製に役立つ有機反応化学」(東医歯大生材研・理研 CLST)細谷孝充 [若手講演賞] 9 件表彰 共催 : 日本化学会、日本薬学会	245(155)
第 74 回有機合成化学協会関東支部シンポジウム(新潟シンポジウム) ; 11/18~11/19 ; 新潟大学五十嵐キャンパス 特別講演 3 件、一般講演 75 件 1.「経口 FXa 阻害剤エドキサバンの創薬研究」(第一三共) 永持雅敏 2.「バリウムの特性を活かした高選択的反応の開発」(千葉大院理) 柳澤章 3.「低酸化数の有機ホウ素化合物が示す特徴的な反応性」(名大院工) 山下誠 [若手講演賞] 8 件表彰 共催 : 日本化学会、日本薬学会	197(107)
若手研究者のためのセミナー ; 7/8 ; 東京大学薬学系総合研究棟 2 階講堂 講演 6 件 1.「触媒の特性を活かした化学選択的反応の開発」(東大院薬) 清水洋平 2.「クロロシランの触媒的変換反応による有機ケイ素化合物の合成」(産総研) 別部輝生 3.「アセチレンコバルト錯体を利用した連続環化反応」(工学院大院工) 坂田優希 4.「グアニジン (チオ) ウレア触媒による不斉反応を基盤とした天然物の合成研究」(東農工大院工) 小田木陽 5.「タンパク質チロシン残基の触媒的ラベル化法の開発」(東工大化生研) 佐藤伸一 6.「4 本鎖 DNA と結合する化合物の合成と評価」(千葉大院理) 飯田圭介	119(86)
シンポジウム【東海支部】	
有機合成セミナー ; 6/24 ; 岐阜大学 1. 糖鎖の構造多様性に挑む - 精密合成が拓く糖鎖の機能研究 - (岐阜大研究推進・社会連携機構 生命セ) 安藤弘宗 2. 光・電子機能性分子の物性追求により拓く未来 (名大トランスフォーメティブ生命分子研) 山口茂弘 3. 人の未来を変える「ものづくり」の原点は人・アイデア・化学〜メディシナルケミストリーによるイノベーションの事例〜 (大日本住友製薬) 中平博之	61(50)
若手研究者のためのセミナー ; 7/21 ; 信州大学理学部 【支部奨励賞受賞講演】 1.可視光を利用する超効率分子変換反応の開発研究 (岐阜薬大創薬) 山口英士 2.アズレンを基盤とした共役π電子系化合物の合成 (信州大理) 庄子卓 3.ペプチドリード創薬を指向したクロロアルケン型ペプチド結合等価体の創製と応用 (静岡大工) 鳴海哲夫 【招待講演】 1.テトラアールホスホウウム骨格をベースとした有機分子触媒の開発 (信州大工) 戸田泰徳 2.多置換シクロプロパンの不斉合成と不斉伝搬を鍵とする高選択的有機合成 (信州大繊維) 西井良典	65(56)
第 48 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会特別討論会 ; 11/11~11/12 ; 岐阜大学 【特別討論会】「躍進する有機化学」 <依頼講演> 1. 有機化学と分子生物による細胞能の自在制御を目指して (名工大 FRIMS) 築地真也 2. 安全・簡便有機合成を指向した Pd 触媒反応 (静岡県大薬) 眞鍋敬 3. リコポジウムアルカロイドの合成研究 (名大院創薬) 横島聡 4. 高周期典型元素を活用した有機化学 (名市大院自然) 笹森貴裕 <招待講演> 1. キラルリン酸の開発と新展開 (学習院大理) 秋山隆彦	633(67)

表 5・5 平成 29 年度事業報告 (その 5)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
<p>前ページからの続き 2. 化学と生命科学を革新する有機化学の開拓を目指して：岐阜大学で始めた研究の現状（東医歯大生材研・理研 CLST）細谷孝充 共催：日本化学会、高分子学会、化学工学会、日本農芸化学会、日本油化学会、日本薬学会など</p>	
<p>総合講演会；12/16；豊橋技術科学大学 1. 企業での有機合成化学の役割（大日本印刷）土屋康典 2. 生物活性天然分子のケミカルバイオロジー（北大院薬・名誉）小林淳一 3. 分子設計・材料設計・プロセス設計のためのデータ駆動型化学～材料設計・プロセス設計・品質管理と制御の連動～（東大院工）船津公人</p>	25(15)
シンポジウム【関西支部】	
<p>有機合成化学北陸セミナー；10/6～10/7；福井県まつや千千 【特別講演 3 件】 1.二重活性化型不斉触媒の創製（阪大産研）笹井宏明 2.電子触媒クロスカップリング反応（関西学大理工）白川英二 3.企業における仕事—参天製薬を例として（参天製薬 [クレール]）山本悟功 【招待講演 1 件】 化学資源を活用する有機合成化学の開拓（京大化研）中村正治 一般研究発表 8 件、ポスター発表 30 件 共催：日本化学会、日本薬学会</p>	138(104)
<p>第 37 回有機合成若手セミナー「明日の有機合成を担う人のために」；8/9；同志社大学室町キャンパス 1.金触媒によるアルカロイド型骨格の構築と全合成研究（京大国際院薬）大野浩章 2.いくつかの変わった反応（京府大院生命環境）樺一典 3.有機合成化学を基盤とする海洋天然物のケミカルバイオロジー研究（立命館大薬）古徳直之 4.拡張π電子系の制御合成と熱電変換材料の創出（阪工大工・JST さきがけ）村田理尚 5.ONO-2952（TSPO 拮抗剤）のプロセス開発研究（小野薬品工業）長谷川知之 6.ロジウム触媒を用いた縫合反応によるキノイド型縮環オリゴシロールの合成および物性（阪大院基礎工）新谷亮 ポスター発表 89 件 共催：日本薬学会</p>	206(142)
<p>第 34 回有機合成化学セミナー；9/12～14；金沢市文化ホール／金沢ニューグランドホテル 【招待講演 8 件】 1.可視光(太陽光)で促進されるフォトドックス触媒反応:オレフィンの官能基化を中心に（東工大化学生命研）穂田宗隆 2.タンパク代用物としての短鎖ヘリカルペプチドの創出（富山大院医薬）井上将彦 3.有機 E L 材料の高性能化を実現する有機合成技術（東ソー）松本直樹 4.配位子設計が拓いた新しい有機合成（北大院理）澤村正也 5.1,4-双極性活性種を用いる環化付加反応の開発（金沢大薬）松尾淳一 6.化学的手法による天然毒の生合成研究（東北大院農）山下まり 7.選択的 ROR γ 阻害剤の創製—ドラッグライクネス指標をガイドに用いた合成展開（日本たばこ産業）塩崎真 8.ハイブリッド天然物に学ぶ（東工大理）鈴木啓介 【Lecture Ship 受賞講演 1 件】 1.Recent progress in the synthesis of semiconducting polymers using CH-activation and controlled polymerizations (Univ. of Washington) Christine Luscombe 【Mukaiyama Award 受賞講演 2 件】 1.On Discovery in Catalysis (Univ. Munster) Frank Glorius 2.協働金属触媒による有機合成反応（京大院工）中尾佳亮 【奨励賞受賞講演 5 件】</p>	228(84)

表 5・6 平成 29 年度事業報告 (その 6)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
<p>前ページからの続き</p> <ol style="list-style-type: none"> 新規合成方法論の開発を基盤とする含窒素高次縮環天然物の全合成 (神戸大院工) 岡野健太郎 アミド変換反応の開発と天然物合成への応用 (慶大理工) 佐藤隆章 フタロシアニンを基盤としたπ共役系の構築と機能発現 (九大院工) 清水宗治 糖質の精密合成・機能解析・機能制御分子の創製に関する研究 (慶大理工) 高橋大介 迅速かつ強力なカルボン酸の活性化を基盤とするマイクロフローペプチド合成法の開発 (東工大化学生命研) 布施新一郎 <p>ポスター発表 77 件 共催: 有機合成化学協会本部、日本化学会、日本農芸化学会、日本薬学会、近畿化学協会</p>	
シンポジウム【中国・四国支部】	
<p>若手研究者のためのセミナー(第 33 回若手化学者のための化学道場); 9/1~9/2; レーク大樹; 世話人: 斎本博之 【特別指南講演】 生物活性多環式天然物の不斉全合成 (早大院理工) 中田雅久 【師範講演】</p> <ol style="list-style-type: none"> カルバゾールを含む新規π共役系化合物の合成~近赤外吸収と固体発光特性~ (岡山大院自然) 前田千尋 フラビン骨格を基盤とする触媒および機能性材料の開発 (島根大院理工) 飯田拓基 リビングラジカル重合を用いた高性能ポリマーの開発と工業化 (大塚化学) 河野和浩 界面で分子の右と左を制御する (物質・材料研究機構) 森泰蔵 ナノ材料の超分子化学 ~集める・並べる・くっつける~ (広島大院工) 杉川幸太 ペプチド設計に基づく微小管ナノ空間への分子配列 (鳥取大院工) 稲葉央 純粋な有機物で構成された有機超伝導体の開発 (愛媛大院理工) 白旗崇 均一系遷移金属触媒による遷移金属錯体の不斉合成 (徳島大院社会産業理工) 小笠原正道 <p>ポスター発表 37 件</p>	84(64)
<p>2017 年日本化学会中国四国支部大会; 11/11~12; 鳥取産業体育館/鳥取大学; 世話人: 伊藤敏幸 特別講演 (1 件)、会長講演 (1 件)、口頭発表、ポスター発表 共催: 有機合成化学協会中国・四国支部</p>	564 (405)
シンポジウム【九州・山口支部】	
<p>第 29 回若手研究者のためのセミナー; 8/26; 九州大学伊都キャンパス IMI オーディトリウム; 世話人: 清水宗治 (九大院工) 特別講演 1 件; 招待講演 1 件; 受賞講演(ポスター賞); 企業紹介; ポスター発表</p>	114(82)
講習会【本部】	
<p>有機合成化学講習会(前期); 6/14~6/15; 日本薬学会長井記念館長井記念ホール テーマ: 有機合成化学が創出するイノベーション—世の中に貢献する手法とは?—</p> <ol style="list-style-type: none"> 「最近の有機結晶構造解析—粉末結晶解析による医薬品原薬の結晶構造—」(東工大)植草秀裕 「有機合成によるタンパク質、糖タンパク質の機能解析をめざして」(阪大蛋白研) 北條裕信 ※ランチョンセミナー2社 ◇ロックウッドリチウムジャパン ◇HPC システムズ 「Dual CysLT1/CysLT2 受容体拮抗薬 Gemilucast(ONO-6950)のプロセス開発」 (小野薬品工業) 川中康史 「天然物の骨格多様化合成」(東農工大院工) 大栗博毅 「農業における探索合成研究」(日本曹達) 柴山耕太郎 「高分子デザインが拓くフォトニクスの世界」(慶大理工) 小池康博 「ペプチドミメティックを基盤とした中分子創薬とケミカルバイオロジー」(東京医歯大生材研) 玉村啓和 「シアノ基の特性を活用した炭素-炭素結合形成法の開発」(北大院理) 谷野圭持 「蛍光ライブイメージングに基づく化学の新たな医療応用」(東大院薬) 浦野泰照 「次世代 HIV-1 インテグラーゼ阻害剤 ドルテグラビル創薬研究」(塩野義製薬) 川筋孝 「クロスカップリング反応を基軸とした機能性超分子素子の創製」(東大院総合文化) 寺尾潤 	99(1)

表 5・7 平成 29 年度事業報告 (その 7)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
<p>前ページからの続き</p> <p>12.「低分子から生体高分子までを標的とした触媒反応開発」(東大院薬) 金井求</p> <p>13.「ヨウ素の特性を活かした酸化反応の開発」(千葉大院理) 東郷秀雄</p> <p>共催：日本化学会、日本薬学会、日本農芸化学会</p>	
<p>有機合成化学講習会(後期)；11/15～11/16；日本薬学会長井記念館長井記念ホール</p> <p>テーマ：未来志向型もの創りのアプローチ</p> <p>1.「細胞を操る合成化合物」(京大化研) 上杉志成</p> <p>2.「飽和炭素鎖を官能基化する光反応の開発」(山口大院創成科学) 上條真</p> <p>3.「自然界中に存在する微量香気成分の香料への応用」(長谷川香料) 渡辺広幸</p> <p>4.「リコンビナントペプチド技術の再生医療への活用」(富士フィルム) 前川敏彦</p> <p>5.「チオ尿素型有機分子触媒の化学」(京大院薬) 竹本佳司</p> <p>6.「触媒が拓く分子ナノカーボン科学」(名大トランスフォーメティブ生命研) 伊丹健一郎</p> <p>7.「有機合成反応の系統的な機構解析と経路予測へ向けて：反応経路自動探索プログラム GRRM を用いたアプローチ」(北大院理) 前田理</p> <p>8.「MEK 阻害薬 Trametinib (MEKINIST®) の創薬研究とケミカルバイオロジー」(日本たばこ産業) 阿部博行</p> <p>9.「晶析法によるナノサイズ領域の粒子生成」(早大環境保全センター／理工) 平沢泉</p> <p>10.「ラジカル重合を用いた線状および分岐高分子の制御合成」(京大化研) 山子茂</p> <p>11.「有機合成化学を基盤とした核酸医薬品の高機能化研究」(塩野義製薬) 釘宮啓</p> <p>12.「分子内にリン酸基を有する化合物を医薬品にするために－プロドラッグの概念と有機化学－」(徳島大院医歯薬) 南川典昭</p> <p>共催：日本化学会、日本薬学会、日本農芸化学会</p>	104(1)
講習会【関西支部】	
<p>有機合成 2 月セミナー「有機合成のニュートレンド 2017」；2/1～2/2；大阪科学技術センター</p> <p>1.エネルギーを直接分子に伝達するマイクロ波化学法と、スケールアップの現状(マイクロ波化学) 塚原保徳</p> <p>2.不活性結合の切断を鍵とする分子リノベーション技術(理研) 丹羽節</p> <p>3.デザイン型有機イオン対の触媒化学(名大院工) 浦口大輔</p> <p>4.輸血に代わる薬「ムルプレタ®錠 3mg」の創薬物語(塩野義製薬) 高山正己</p> <p>5.たんぱく質間相互作用を調節する合成中分子を創る(信州大院農) 大神田淳子</p> <p>6.化学遺伝学による創薬標的探索研究(理研) 吉田稔</p> <p>7.触媒を介して官能基を移動させる～移動型カルボニル化反応～(奈良先端大) 森本積</p> <p>8.フロー法によるオンデマンド精密有機合成(東大院理) 小林修</p> <p>9.キラルな二核バナジウム触媒の開発と不斉炭素-炭素結合形成反応への応用(阪大産研) 滝澤忍</p> <p>10.キナーゼ創薬の勘所 構造最適化を進めるうえで注意すべきポイント(カルナバイオサイエンス) 澤匡明</p> <p>11.生物活性天然物の機能解明を志向した実践的合成研究(徳島大薬) 難波康祐</p> <p>共催：日本化学会、日本薬学会、日本農芸化学会、近畿化学協会</p>	110(38)
懇談会【本部】	
<p>2017 新春特別フォーラム；1/18；化学会館・山の上ホテル(本館)</p> <p>※講演の部「世界に飛躍する日本の科学技術―産学の明日を考える―」</p> <p>1.「グローバル化する製薬産業とイノベーションの創出」(中外製薬) 永山治</p> <p>2.「日本の化学と化学産業 - 生存の条件」(科学技術振興機構研究開発戦略センター) 野依良治</p> <p>3.フルート演奏：(東大総括プロジェクト機構／同大院理) 中村栄一</p> <p>※賀詞交換会「産官学の人的ネットワーク構築をめざして」</p> <p>共催：有機合成化学協会関東支部</p>	147(0)
<p>第 1 回公開講演会「AI と有機合成化学」；7/4；化学会館 7F ホール</p> <p>1.「データ駆動型化学へのパラダイムシフト」(東大院工) 船津公人</p> <p>2.「創薬化学における人工知能の展望」(京大院医) 奥野恭史</p> <p>3.「触媒の発見から産学連携による実用化、キャタリストインフォマティクスへ」(産総研) 佐藤一彦</p> <p>4.「人工知能技術による機能分子・物質設計」(東大院新領域創成科学) 津田宏治</p>	124(0)

表 5・8 平成 29 年度事業報告 (その 8)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
前ページからの続き 5.「バイオ×デジタルの融合がもたらす、ものづくり産業の革新」(経産省商務情報政策局生物化学産業課) 西村秀隆	
中堅・若手リーダーのための Y U G O K A F e (ユウゴウカフェ) (講演&討論会) —法人企業のリーダークラス、次のリーダーを担う研究職・技術系社員、同年代のアカデミア所属会員のためのフォーラム—; 8/25; 化学会館 7F ホール/5F 大会議室 [第 I 部] 講演 1 件 「創薬を成し遂げるための苦悩と研究者としてなすべきこと」(立命館大/元武田薬品工業) 内川治 [第 II 部] 討論会	60(0)
有機合成化学懇談会; 12/9; 化学会館 5F 大会議室 企業の若手研究者と交流・討論できる、学生のためのセミナー(第 4 弾) (1) パネラー紹介 1.「業務紹介～有機化学から創薬化学へ～」(興和) 荒木崇彰 2.「日々の業務紹介、研究室との違いについて(有機合成から高分子、成形加工技術の分野へ)」(三井化学) 田中真哉 3.「創薬化学研究とは～製薬企業における有機合成化学～」(田辺三菱製薬) 松本幸爾 4.「医薬品開発におけるプロセス研究 —合成化学の限界に挑戦—」(日産化学工業) 吉野円香 5.「農薬の探索合成と有機合成化学」(日本曹達) 柴山耕太郎 6.「自己紹介と花王の業務紹介—香料合成の仕事—」(花王) 三代亜沙美 7.「企業での研究活動について ～学生と社会人の違いとは?～」(カネカ) 安河内宏昭 (2) ブース形式懇談会	47(47)
懇談会【関東支部】	
有機合成化学ミニシンポジウム①; 4/14; 東京理科大学・神楽坂キャンパス 1.「精密有機合成を目指して—私が学んだこと—」(北大名誉) 宮下正昭	206(142)
有機合成化学ミニシンポジウム②: ミニシンポジウム湘南 2017; 6/24; 東海大学湘南キャンパス 1.「ペプチド化学を基盤とした中分子創薬」(東京薬大薬) 林良雄 2.「二酸化炭素を C ₁ ユニットとする複素環合成反応」(慶大理工) 山田徹 3.「有機電子材料を指向した含窒素複素環化合物の合成」(相模中研) 相原秀典	117(99)
有機合成化学ミニシンポジウム③: ミニシンポジウム千葉 2017; 11/27; 千葉大学自然科学系総合研究棟 (西千葉キャンパス) 1.「フッ素の特徴を生かした創薬—含フッ素プロスタノイドの合成研究—」(旭硝子) 松村靖 2.「理論計算と合成化学の協奏による分子科学・分子技術・化学系薬学研究」(東大院薬) 内山真伸 3.「光をつかって生体機能を探り操る、そしてがん治療へ!」(東工大化生研) 中村浩之	111(78)
有機合成化学ミニシンポジウム④: ミニシンポジウム多摩 2017; 10/21; 工学院大学八王子キャンパス 3 号館 1.「ベンツリジジン X の全合成」(北海道薬大) 鈴木裕治 2.「常識にとられない糖化学」(理研) 眞鍋史乃 3.「天然芳香族化合物の合成のための新手法」(東京薬大薬) 松本隆司 4.「生物活性天然物の合成研究: キラルプール法によるアプローチ」(慶大理工) 千田憲孝 共催: 工学院大学生体分子システムセンター	129(99)
第 15 回有機合成化学談話会(湯河原セミナー); 9/22~9/23; 和光純薬工業(株)湯河原研修所 講演 4 件 1.「急進展する有機フッ素化合物の合成」(群馬大院理工) 網井秀樹 2.「酵素触媒機能を活用する物質変換—ダメもと、でもやってみる?」(慶大薬) 須貝威 3.「芳香環、作って壊して天然物合成」(慶大理工) 犀川陽子 4.「精神疾患治療薬の創薬研究—シグマ受容体拮抗薬、CRF 受容体拮抗薬、mGluR2/3 作動薬・拮抗薬のデザインを中心に—」(大正製薬) 中里篤郎 【ショートレクチャー】&【ポスターセッション】6 件	19(7)

表 5・9 平成 29 年度事業報告 (その 9)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
<p>前ページからの続き</p> <p>1. 「N-カルバモイルジベンゾアゼピンの立体構造の解明」 (帝京大薬) ○金瀬薫、北田岳史、喜田次郎、田畑英嗣、忍足鉄太、夏苺英昭、高橋秀依</p> <p>2. 「超原子価ヨウ素試薬によるジアリールアミン類の酸化的環化反応を基盤としたヒドロカルバゾール誘導体の合成法の開発」(東農工大院工) ○細谷圭介、小田木陽、長澤和夫</p> <p>3. 「BH₃・THF によるエポキシ不飽和エステルの還元反応」 (工学院大院工) ○小澤暢熙、室川俊介、木村直城、古川晃規、安井英子、南雲紳史</p> <p>4. 「合成カンナビノイド誘導体の合成と GC-MS/MS の異性体識別」(帝京大薬, 名大法医) ○荒木拓嗣、牧野宏章、松本謙吾、財津桂、草野麻衣子、夏苺英昭、高橋秀依</p> <p>5. 「ロジウム触媒を用いたアリルベンゼン誘導体の炭素-炭素結合切断を経る分子変換反応」 (慶大理工) ○小野寺俊亮、河内卓彌、垣内史敏</p> <p>6. 「テロメアグアニン四重鎖のトポロジー選択的な誘起を志向した新規鎖状型ヘキサオキサゾール化合物の合成および物性評価」(東農工大院工) ○佐々木捷悟、馬悦、長澤和夫</p>	
懇談会【東海支部】	
<p>Dr. Nobuyoshi Yasuda, Ph.D. 訪日学者講演会 ; 1/30 ; 静岡県立大学 Practical Examples from Process Research (Senior Principle Scientist, Process Research, Merck Research Laboratories, U.S.A.) Dr. Nobuyoshi Yasuda, Ph.D. 東京大学客員教授</p>	53(44)
<p>Prof. Rajeev Prabhakar 訪日学者講演会 ; 2/21 ; 名古屋大学 Acid-Base Chemistry of Natural Enzymes and their Synthetic Analogues (Department of Chemistry, University of Miami, Florida, U.S.A.) Prof. Rajeev Prabhakar</p>	58(47)
<p>Prof. Mukund P. Sibi 訪日学者講演会 ; 2/27 ; 名古屋大学 Cooperativity in Catalysis: A Novel Method for Enantioselective Transformations with Complex Substrates (Department of Chemistry and Biochemistry, North Dakota State University, North Dakota, U.S.A.) Prof. Mukund P. Sibi</p>	83(75)
<p>Prof. Mukund P. Sibi 訪日学者講演会 ; 3/9 ; 信州大学 Cooperativity in Catalysis: A Novel Method for Enantioselective Transformations with Complex Substrates (Department of Chemistry and Biochemistry, North Dakota State University, North Dakota, USA) Prof. Mukund P. Sibi</p>	35(21)
<p>Prof. Yang Kim 訪日学者講演会 ; 5/26 ; 三重大学 ID, 2D and 3D Polyamines and Their Metal Complexes (Department of Biological Sciences and Chemistry Kosin University, South Korea) Prof. Yang Kim</p>	75(69)
<p>Prof. Jeng-Liang Han 訪日学者講演会 ; 7/21 ; 名古屋大学 Asymmetric Assembly of a Structurally and Stereochemically Complex Spirooxindole δ-Lactones through Organocatalytic Vinylogous Aldol-Cyclization Cascade Reaction (Dept. of Chemistry, Chung Yan Christian Univ., Taiwan, China) Prof. Jeng-Liang Han</p>	67(60)
<p>遠藤篤史博士 訪日学者講演会 ; 7/24 ; 静岡県立大学 Industrialization of Total Synthesis: Crystallization by Design Approach for Structurally Complex Natural Product-Based Pharmaceutical Drug (Principal Scientist, Integrated Chemistry Eisai Andover Innovative Medicines Institute, Eisai Inc. (Andover, MA, U.S.A.)) 遠藤篤史 博士</p>	80(70)
<p>Prof. Boris J. Nichtsheim 訪日学者講演会 ; 9/10 ; 名古屋工業大学 Novel Alkynylation Strategies with Hypervalent Iodine Compounds (University of Bremen, Germany) Prof. Boris J. Nichtsheim</p>	27(23)
<p>Prof. Jean-François Paquin 訪日学者講演会 ; 9/11 ; 名古屋工業大学 Exploration and Some Discoveries in Organofluorine Chemistry (Département de chimie Université Laval, Canada) Prof. Jean-François Paquin</p>	29(25)

表 5・10 平成 29 年度事業報告 (その 10)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
Prof. Shu-Li You 訪日学者講演会 ; 9/19 ; 名古屋大学 Pd and Rh-Catalyzed Asymmetric C-H Bond Functionalization Reactions (Shanghai Institute of Organic Chemistry, Chinese Academy of Sciences, China) Prof. Shu-Li You	83(75)
Prof. Xavier Franck 訪日学者講演会 ; 11/22 ; 静岡県立大学 Synthesis of fluorescent or bioactive azaphilones(Rouen-Normandy University IRCOF Research Director at CNRS UMR-CNRS 6014 COBRA, France) Prof. Xavier Franck	87(75)
懇談会【関西支部】	
有機合成新春講演会 ; 1/25 ; 大阪科学技術センター 1.安定ラジカルを用いる有機開殻 π 電子系化合物の新展開 (阪市大院理) 岡田恵次 2.特異な π 共役有機分子およびその集合体の創出 (阪大院基礎工) 戸部義人 3.分子デザインと有機合成、そして期待した活性との溝 (京都薬大) 上西潤一 4.フシコッカシテルペノイドの合成・生合成・活性・機能 (阪大産研) 加藤修雄 共催 : 近畿化学協会	101(19)
セミナー“化学千一夜「あすの化学への夢を語ろう」 ; 6/23~6/24 ; SPring-8 / 志んぐ荘 1.見学会 SPring-8 SACL A 研究施設 2.放射光 X 線回折による構造可視化の最前線 (理研) 加藤健一 3.単一分子の観測から広がる化学研究 (阪大産研) 真嶋哲朗 4.放談会「摩訶不思議な電子移動反応とフローマイクロ光化学反応のコラボレーション」(阪府大名誉 / 奈良先端大) 水野一彦 5.分子の積み木細工による 2 次元機能材料の創製 : 液面の特異性を利用して作る多孔性ナノシート (阪府大院工) 牧浦理恵 6.実用化が進むスライドリングマテリアル (アドバンスト・ソフトマテリアルズ) 野田結実樹 7.クロスカップリングの新展開 (阪大院工) 神戸宣明 共催 : 日本化学会、近畿化学協会	35(6)
懇談会【中国・四国支部】	
第 75 回パネル討論会「有機 π 分子の超分子錯体形成による高機能化」(第 1 回幹事会・懇話会合同会議) ; 5/20 ; 広島大学 ; 世話人 : 池田篤志 1. 生体触媒の創製 : 有機合成・錯体化学からのアプローチ (阪大院工) 林高史 2. π 電子系集合体の新展開 : 分子デザインと合成 (立命館大生命) 前田大光	84(51)
第 76 回パネル討論会「芳香環とヘテロ原子が織りなす有機合成化学」 ; 11/16 ; 島根大学 ; 世話人 : 西垣内寛 1. チオフェンの低い芳香族性を生かした分子変換による新奇 π 電子系の創製 (名大院理) 深澤愛子 2. 新形式 Pummerer 反応が拓く有機合成 : 芳香族性の破壊を伴う分子変換 (京大院理) 依光英樹	38(32)
来日学者講演会 ; 2/28 ; 岡山大学 ; 世話人 : 西原康師 Synthesis of Acetylenic Derivatives from Calcium Carbide: a New Sustainable Chemical Feedstock(Chulalongkorn University, Thailand)Sumrit Wacharasindhu	26(19)
来日学者講演会 ; 3/4 ; 岡山大学 ; 世話人 : 坂倉彰 Cooperativity in Catalysis: A Novel Method for Enantioselective Transformations with Complex Substrates(North Dakota State University, USA)Mukund P. Sibi	56(41)
来日学者講演会 ; 11/14 ; 岡山大学 ; 世話人 : 菅誠治 Preventing and Fighting Malaria: Carbohydrate Vaccines and Flow Chemistry (Max-Planck-Institute of Colloids and Interfaces)Peter H. Seeberger	82(64)
来日学者講演会 ; 11/18 ; 岡山大学 ; 世話人 : 菅誠治 Catalytic Transformations of Olefins(Colorado State University)Yian Shi	106(66)
来日学者講演会 ; 12/18 ; 愛媛大学 ; 世話人 : 宇野英満 Optimized Fluorescent Emitters Based on a Hydroxybenzazole or Anil Scaffold (University of Strasbourg)Julien Massue	48(40)

表 5・11 平成 29 年度事業報告 (その 11)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
第 14 回ナノ・バイオ・インフォ化学シンポジウム；12/15～12/16；広島大学 世話人：相田美砂子(ナノ・バイオ・インフォ化学研究会、日本化学会) 口頭発表 (A) (20 分)、口頭発表 (B) (15 分) 講演数 25 件 (登壇者の内訳：一般 (4)、学生 (21)) 主催：ナノ・バイオ・インフォ化学研究会、日本化学会	126(93)
懇談会【九州・山口支部】	
第 54 回化学関連支部合同九州大会；7/1；北九州国際会議場(北九州市) 化学関係九州支部(共催)；担当：電気化学会九州支部 特別講演 1 件、招待講演 8 件、ポスター発表	900(700)
第 1 回有機合成化学講演会；6/2；九州大学馬出キャンパスコラボステーション 招待講演 3 件；世話人：伊藤芳雄 (九大院理)	92(48)
外国人特別講演会；6/22；九州大学大学院薬学研究院本館第 4 講堂；担当：大嶋孝志 1.Highly Active and Iso-selective Catalysts For ROP of Cyclic Esters using Group 2 Metal Initiators 2.Homogeneous Catalysis using Abundant Metals in Earth (Department of Chemistry Indian Institute of Technology Hyderabad, India) Tarun Kanti Panda	35(25)
外国人特別講演会；10/14～17；宮崎県シーガイアコンベンションセンター；担当：渡邊源規 トリプチセン類縁体である Pentiptycene を用いた機能性有機分子骨格構築とその物性研究に関する講演 (Department of Chemistry, National Taiwan University) Jye-Shane Yang	30(0)
外国人特別講演会；10/27；佐賀大学理工学部 8 号館 5 階環境科学セミナー室；担当：竹下道範 Diels-Alder 反応などを用いた、刺激応答性ポリマーに関する講演 (フランスリール第一大学 材料変換 研究機構 (UMET)) Jean-Marc Lefebvre 名誉教授	29(21)
見学会【九州・山口支部】	
見学会；11/2；新日鉄住金化学(株)九州製造所；担当：川田敦志 (新日鉄住金化学)	19
公 2 関連会議	
有機合成化学協会事業委員会(3/7,5/17,7/18,9/22,11/29) 平成 29 年度(秋季)有機合成化学講習会企画委員会；5/17 平成 30 年度(春季)有機合成化学講習会企画委員会；11/15 第 111 回有機合成シンポジウムプログラム編成会議；3/7 第 112 回有機合成シンポジウムプログラム編成会議；7/18	
公 3. 表彰事業	担当機関
有機合成化学特別賞の選考と受賞者(1 件採択)	
理事による候補者推薦；6～8 月郵便による投票	理事会
理事によって推薦された候補者からの受賞者選考；10/5；化学会館 ●中西香爾(コロンビア大学名誉教授) 業績：重要な生理活性天然物の発見とスペクトル構造解析法の先駆的開発 表彰式・受賞講演(H30.2/15)	賞選考 委員会
有機合成化学協会賞・奨励賞の選考と受賞者(協会賞：4 件；奨励賞：5 件採択)	
各支部推薦委員会；～7 月	
奨励賞書面審査；8 月；郵便	
協会賞(学術/技術)・奨励賞選考委員会；10/4～10/5；化学会館	
有機合成化学協会賞(学術的なもの) ●秋山隆彦(学習院大) 業績：キラルプレンステッド酸触媒の開発と不斉触媒反応への展開 ●寺田眞浩(東北大) 業績：高機能性有機酸ならびに有機塩基触媒の創製 有機合成化学協会賞(技術的なもの) ●杉山幸宏(日本軽金属(株)) 業績：新規酸化剤「次亜塩素酸ナトリウム 5 水和物 (SHC5)」の工業化とその酸化反応への応用	賞選考 委員会

表 5・12 平成 29 年度事業報告 (その 12)

事業の名称および事業の概要	担当機関
<p>前ページからの続き</p> <ul style="list-style-type: none"> ●安酸達郎(塩野義製薬(株)) 業績: HIV-1 インテグラーゼ阻害剤ドルテグラビルの効率的合成法の開発 <p>有機合成化学奨励賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ●安藤吉勇(東工大) 業績: 有機分子の潜在的反応性を活用した高次構造天然物の全合成研究 ●小池隆司(東工大) 業績: 可視光フォトレドックス触媒作用を基盤としたラジカルの官能基化法の開発 ●米山公啓(広島大) 業績: ユビキタス金属触媒を利用した化学変換反応の開発 ●田中慎二(名大) 業績: ルテニウム・プロトン酸協働触媒による Tsuji-Trost 反応の新展開 ●西形孝司(山口大) 業績: α-プロモカルボニル化合物を用いる官能性第 4 級炭素の構築法確立表彰式(H30.2/15) <p>受賞講演: 協会賞(学術的なもの: H30.2/15 技術的なもの: H30 未定) 奨励賞(H30.9/18~20)</p>	
Mukaiyama Award の選考と受賞者(国内および海外各 1 件採択)	
<p>Mukaiyama Award 委員会; 2018 受賞者選考委員会 9/5</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 鷹巣守(大阪大学) The discovery and development of new catalytic reactions that can transform strong chemical bonds, such as carbon-carbon, carbon-oxygen and carbon-heteroatom bonds. ● Prof. Jeffrey W. Bode (Swiss Federal Institute of Technology (ETH)) Enantioselective N-heterocyclic carbene catalysis, KAHA ligation the chemical synthesis of proteins, SnAP and SLAP reagents for the preparation of saturated N-heterocycles, potassium acyltrifluoroboronates (KATs) for amide and amine synthesis. <p>表彰式・受賞講演; H30.9/18~20</p>	Mukaiyama Award 委員会
Lectureship Award	
<ul style="list-style-type: none"> ● Prof. Christine Luscombe (University of Washington, USA) The comcontributions to the synthesis of semiconducting polymers using CH-activation and controlled polymerizations. <p>表彰式・受賞講演; H29.9/12~14</p>	関西支部
企業冠賞の選考と受賞者(各 1 件、合計 3 件採択)	
<p>シオノギ・低分子創薬化学賞; 書面審査(郵便; ~11/20)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●西川俊夫(名大) 業績: 生物活性天然物の効率的合成のための新合成方法論の開発 <p>第一三共・創薬有機化学賞; 書面審査(郵便; ~11/20)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大井貴史(名大) 業績: 有機イオン対触媒の設計と機能創出 <p>東ソー・環境エネルギー賞; 書面審査(郵便; ~11/20)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●藤田健一(京大) 業績: 有機分子の触媒的脱水素化を基軸とする効率的有機合成ならびに水素貯蔵・水素製造 <p>日産化学・有機合成新反応/手法賞; 書面審査(郵便; ~11/20)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●柴田高範(早大) 業績: イリジウムならびにロジウム触媒を駆使した効率的分子変換法の創出 <p>富士フイルム・機能性材料化学賞; 書面審査(郵便; ~11/20)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●磯部寛之(東大) 業績: 大環状芳香族分子の薄膜・固体を活用した多能材料開発 	企業冠賞選考委員会
高砂香料国際賞「野依賞」関連	
<p>野依賞委員会; 2017 受賞者選考委員会 8/21</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Prof. David W. MacMillan (Princeton University, USA) Within organocatalysis he invented the area of iminium catalysis and made significant comcontributions to hydrogen-bonding catalysis, including the development of the MacMillan organocatalysts. He has also been a leader in bringing the field of photoredox catalysis to synthetic organic chemistry. <p>表彰式・受賞講演; H30.2/15</p>	野依賞委員会

表 5・13 平成 29 年度事業報告 (その 13)

事業の名称および事業の概要	参加者数 担当機関
支部表彰	
<p>【関西支部】 第 15 回関西支部賞受賞講演会；11/8；大阪科学技術センター 1.カルベンの特異性を活用した革新的分子変換法の開発（金沢大理工）添田貴宏 2.感染病原体を対象とした阻害分子と診断分子の創成（阪大産研）開発邦宏 3.生体分子の自己組織化特性を利用した不斉構造規制場の構築（阪大院工）森内敏之 共催：近畿化学協会</p>	49(2)
<p>【中国・四国支部】 有機合成化学特別講演会「支部奨励賞受賞講演並びに特別招待講演会」；11/18；岡山大学(第 2 回幹事会・懇話会合同会議)；世話人：依馬正、坂倉彰 【支部奨励賞受賞講演】 イオン液体科学と有機レドックス化学に基づく糖鎖合成ならびにエネルギー貯蔵の新展開（鳥取大院工）野上敏材 【特別招待講演】 有機合成を基盤とした糖鎖の機能解析（阪大院理）深瀬浩一</p>	115(75)
<p>【九州・山口支部】 第 2 回有機合成化学講演会・支部各賞表彰式；11/1；九州工業大学百周年中村記念館；担当：岡内辰夫（九工大工）支部賞受賞講演、招待講演</p>	58(21)
<p>第 27 回万有福岡シンポジウム；6/3；九州大学馬出キャンパス百年講堂；支部ポスター賞（2 名）</p>	
他 1・共益事業	
ゆうごう会	
<p>第 21 回ゆうごう会；5/25；化学会館 講演 1 件：創薬を指向した有機合成（帝京大名誉）池上四郎</p>	24(0)
<p>第 22 回ゆうごう会；5/30；King of Kings（大阪市） 講演 1 件：アセチレン合成触媒の発展を辿る（阪市大名誉） 菌頭健吉</p>	22(0)
<p>第 23 回ゆうごう会；11/6；King of Kings（大阪市） 講演 1 件：大学の現状と課題（京大総合生存学館・同大環境安全保健機構）大島幸一郎</p>	26(0)
<p>第 24 回ゆうごう会；12/4；化学会館 講演 1 件：創薬におけるセレンディピティ（元大正製薬）森本繁夫</p>	21(0)
研究企画賞	
<p>研究企画賞選考委員会；11/9；化学会館；23 件採択</p>	担当機関
<ul style="list-style-type: none"> ● 旭化成ファーマ研究企画賞：嵯峨 裕(東京理科大学) 協奏触媒概念による多彩な不斉有機金属活性種の生成と医薬リードの多様性拡張型不斉合成への展開 ● 味の素研究企画賞：岩田 隆幸(九州大学) ナザロフ反応を用いた分子放出反応の開発とその抗体薬物複合体への応用 ● ADEKA 研究企画賞：田原 淳士(九州大学) n 共役エナミンをドナーに持つ新規ドナー・アクセプター化合物の合成および機能性材料への応用 ● カネカ研究企画賞：増井 悠(横浜薬科大学) 二酸化炭素からアミノ酸を合成するためのモジュラーフロー設計 ● 塩野義製薬研究企画賞：草野 修平(福岡大学) 有機ホウ素触媒ベンゾオキサポロールを基盤としたポリオール類化合物の自在化学変換反応の開発 ● 昭和電工研究企画賞：宮村 浩之(東京大学) 協調触媒機能を有する高分子に担持された不均一系金属ナノ粒子触媒の開発と環境調和型有機合成への応用 ● セントラル硝子研究企画賞：川本 拓治(山口大学) トリフルオロメタンスルホンアミドの新しい利用法 ● 第一三共研究企画賞：倉永 健史(北海道大学) 生物合成系を模倣した効率的ペプチド化学合成法の開発 ● 大正製薬研究企画賞：野中 洋(東京大学) 超高感度化核磁気共鳴技術による生体機能解析へ向けた生体適合性核偏極基盤分子の開発 	研究企画賞 選考委員会

表 5・14 平成 29 年度事業報告 (その 14)

事業の名称および事業の概要	担当機関
<p>前ページからの続き</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ダイセル研究企画賞: 松本 和弘(産業技術総合研究所) シロキサン材料の自在合成を目指した触媒的シロキサン結合形成法の開発 ● 高砂香料工業研究企画賞: 古山 溪行(金沢大学) 近赤外光を駆動力とするフォトレドックス反応の開発 ● 田辺三菱製薬研究企画賞: 安田 茂雄(金沢大学) アルデヒドの C-H アリル化を実現する新触媒システムの創製 ● 中外製薬研究企画賞: 原田 慎吾(千葉大学) 入手容易な芳香族フィードストックと未開拓反応種を利用した特異的反応の開発と合成展開 ● 帝人ファーマ研究企画賞: 藤間 達哉(名古屋大学) テトロドトキシン類縁体の合成による高サブタイプ選択的な電位依存性ナトリウムチャンネル阻害剤の開発研究 ● 東ソー研究企画賞: 村田 理尚(大阪工業大学) n共役ジチオラート配位子の自在合成とフレキシブル熱電変換材料の創出 ● 東レ研究企画賞: 鋤野 哲(千葉大学) 多価アルコールの活性化を志向したキラルアリアルポロニウム酸触媒の創製と応用 ● 日産化学工業研究企画賞: 佐々木 要(東邦大学) 異常配座糖を活用した革新的戦略による糖鎖精密合成法の開発 ● 日本触媒研究企画賞: 大町 遼(名古屋大学) バッテリー応用を指向した硫黄ドーピンググラフェンのテーラーメイド合成 ● 富士フイルム研究企画賞: 伊藤 元気(明治薬科大学) ロジウム触媒を用いる窒素-窒素結合形成を機軸とするポリアミン類の新規合成法の開発 ● 三井化学研究企画賞: 菅 拓也(金沢大学) アルコールからの直接的炭素ラジカル生成を利用した C-OH 結合変換反応の開発 ● 三菱ガス化学研究企画賞: 浜坂 剛(分子科学研究所) 両親媒性遷移金属錯体の固相表面上への固定化に基づく高効率水中触媒反応システムの構築 ● 三菱ケミカル研究企画賞: 澤間 善成(岐阜薬科大学) 脱水素型酸化を基盤とした不均一系触媒的反応の開発と応用 ● Meiji Seika ファルマ研究企画賞: 吉田 泰志(千葉大学) オキサジリジンの触媒的反応性を駆使した不活性 C(sp³)-H 結合の化学選択的不斉アミノ化反応の開発 	<p>研究企画賞 選考委員会</p>
法人運営関連会議	
本部関連	
第 80 回通常総会(定期社員総会 ; 2/16)	
運営委員会・理事会(1/27, 2/16,4/13, 6/16, 9/11, 12/8)	
財務・予算委員会(12/1, 1/18) ; 第一分科会(新事業企画)・第二分科会(HP 見直し) (4/13, 6/16, 6/23, 8/9, 9/11, 10/21, 1/26)	
平成 29 年度役員候補者選出委員会(10/20)	
支部関連 【北海道支部】	
<p>支部幹事会 ; 7/1 ; 北海道大学</p> <p>1. 役員の紹介 ; 2. 2016 年度有機合成化学協会北海道支部・収支決算報告 ; 3. 2017 年度有機合成化学協会北海道支部・事業計画紹介 ; 4. 北海道支部内規 (案) の作成に関して ; 5. 若手研究者のための有機化学札幌セミナーに関して ; 6. 有機合成化学協会賞、および奨励賞の推薦に関して ; 7. 今後の懇談会の開催方法について</p>	
<p>支部幹事会 ; 11/28 ; 北海道大学</p> <p>1. 2018 年度有機合成化学協会北海道支部・事業計画、および予算案に関して ; 2. 役員 (会長候補者、副会長候補者) の選出に関して ; 3. 共催金、講演会謝金の支出に関して ; 4. 第 113 回有機合成シンポジウム (名古屋) の開催に関して ; 5. 今後の支部幹事会の開催時期について</p>	
支部関連 【関東支部】	
常任幹事会(4/14,7/11,10/13,12/19)	
支部幹事会(4/14,10/13)	
談話会(湯河原セミナー)企画委員会 ; 3/22 ; 化学会館	
協会賞等支部推薦委員会 ; 7/11 ; 化学会館	

表 5・15 平成 29 年度事業報告 (その 15)

事業の名称および事業の概要	担当機関
新潟シンポジウム世話人会・新潟地区幹事会合同会議；11/18；新潟大学	
支部関連【九州・山口支部】	
事務引継会；2/9；九州大学馬出キャンパス(参加者：H28/29 幹事執行部、相談役、監査、事務局員)	
支部各賞選考委員会；6/2；九州大学馬出キャンパスコラボステーション 奨励賞・優秀論文賞・技術賞候補者によるヒアリング；支部各賞選考委員(7名)	
第 1 回幹事会；6/2；九州大学馬出キャンパスコラボステーション 議題：平成 28 年度事業・決算報告；平成 29 年度事業計画・予算案他	
第 2 回幹事会；11/1；九州工業大学鳳龍会館会議室 議題：平成 29 年度中間事業・会計報告；平成 30 年度事業計画・予算案他	

事業報告附属明細書

平成 29 年度事業報告には「一般社団法人および一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

表 6・2 平成 30 年度事業計画 (その 2)

事業の名称・事業の概要	主催	共催
公 2 ・研究会事業(つづき)		
シンポジウム		
第49回中化連秋季大会(11月3-4日 ; 名古屋大学)	東海支部	
第49回中化連秋季大会特別討論会(11月3-4日 ; 名古屋大学)	東海支部	
第38回有機合成若手セミナー「明日の有機合成を担う人のために」(若手研究者のためのセミナー) : 8月上旬頃、関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス	関西支部	
有機合成北陸セミナー <富山> (9月13-14日 ; 金太郎温泉)	関西支部	
若手研究者のためのセミナー(第34回若手化学者のための化学道場) 世話人 : 高知工科大学 ; 日時・場所未定	中国四国支部	
第30回若手研究者のためのセミナー(9月1日 ; 九州大学馬出キャンパス)	九州山口支部	
講習会		
平成30年度前期有機合成化学講習会(6月13-14日 ; 日本薬学会館)	本部	
平成30年度後期有機合成化学講習会(11月21~22日 ; 日本薬学会館)	本部	
「AIと有機合成化学」研究部会 : 1~2回開催予定(日時・場所未定)	本部	
有機合成2月セミナー“有機合成のニュートレンド2018” (2月5~6日 ; 大阪科学技術センター)	関西支部	
有機合成夏期セミナー“明日の有機合成化学”(日時・場所未定)	関西支部	
懇談会		
有機合成化学懇談会(日時・場所未定)	本部	
2018新春特別フォーラム(1月17日 ; 化学会館 / 山の上ホテル)	本部	関東支部
中堅・若手リーダーのためのYUGOKAF e (講演 & 討論会) ; 8月24日・化学会館	本部	
企業の若手研究者と討論・交流できる学生のためのセミナー(日時未定・化学会館)	本部	
「AIと有機合成化学」キックオフミーティング(公開講演会) ; 1月31日・化学会館	本部	
来日化学者講演会 : 随時	北海道支部	
来日化学者講演会 : 随時	東北支部	
有機合成化学談話会(湯河原セミナー)(9月28-29日 ; 和光純薬湯河原研修所)	関東支部	
訪日学者講演会(10件 ; 日時・場所未定)	東海支部	
有機合成新春講演会(1月23日 ; 大阪科学技術センター)	関西支部	
セミナー-化学千一夜“明日の化学への夢を語ろう” (6月8~9日 ; ダイキン工業(株)テクノロジーアンドイノベーションセンター・I&I LAND)	関西支部	
第77回パネル討論会(5月 ; 岡山大学)	中国四国支部	
第78回パネル討論会または有機合成ミニシンポジウム2018(日時・場所未定)	中国四国支部	
来日学者講演会(5件 ; 随時)	中国四国支部	
第15回ナノ・バイオ・インフォ化学シンポジウム(日時未定 ; 広島大学)	他学会	中国四国支部
第1回有機合成化学講演会(5月11日 ; 九州大学馬出キャンパス)	九州山口支部	
第55回化学関連支部合同九州大会(6月30日 ; 北九州国際会議場)	他学会	九州山口支部
来日学者講演会(最大4件)	九州山口支部	
見学会		
有機合成見学会(日時・場所未定)	本部	
見学会(未定)	九州山口支部	
公 2 関連会議		
事業委員会(日時未定 ; 5回)	本部	
有機合成化学シンポジウムプログラム編成会議(2回)	本部	

表 6・3 平成 30 年度事業計画 (その 3)

事業の名称・事業の概要	担当組織
公 3. 表彰事業	
有機合成化学特別賞関連 理事による予備投票(6~8月郵便) ; 委員会による選考(10月10~11日)	協会賞等選考委員会
有機合成化学協会賞・奨励賞関連 各支部推薦委員会(~7月) 協会賞(技術)・奨励賞書面審査(7月 ; 郵便) 協会賞(学術/技術)・奨励賞選考委員会(10月10~11日)	各支部 協会賞等選考委員会 協会賞等選考委員会
Mukaiyama Award関連会議 Mukaiyama Award委員会(選考委員会)	Mukaiyama Award委員会
企業冠賞関連 塩野義製薬「低分子創薬化学賞」書面審査(郵便) 第一三共「創薬有機化学賞」書面審査(郵便) 東ソー「環境エネルギー賞」書面審査(郵便) 日産化学工業「有機合成新反応/手法賞」書面審査(郵便) 富士フイルム「機能性材料化学賞」書面審査(郵便)	左記選考委員会 左記選考委員会 左記選考委員会 左記選考委員会 左記選考委員会
高砂香料国際賞「野依賞」関連 野依賞委員会	野依賞委員会
支部表彰 支部奨励賞選考・表彰(予定) 第16回支部賞授賞講演会(日時・場所未定) 有機合成化学特別講演会(支部奨励賞受賞講演並びに特別招待講演会) (11月 ; 広島大学) 支部各賞選考委員会(5月11日 ; 九州大学馬出キャンパスコラボステーション) 第28回万有福岡シンポジウム(5月12日 ; 九州大学馬出キャンパス百年講堂) 第2回有機合成化学講演会・支部各賞表彰式(11月 ; 場所未定)	東北支部 関西支部 中国四国支部 九州山口支部 九州山口支部 九州山口支部
他 1 (共益事業)	
技術アドバイザー事業	本部
ゆうごう会(日時未定 : 東京、大阪各2回)	本部
海外視察団派遣(日時・場所未定)	本部
研究企画賞 研究企画賞選考委員会	研究企画賞選考委員会
法人運営関連会議	
本部関連 第81回通常総会(定期社員総会 ; 2月15日) 運営委員会、理事会、理事会分科会(1,2,4,6,9,12月) 平成31年度役員候補者選出委員会	本部 本部 本部
支部関連 第1回幹事会(7月上旬頃・場所未定) 第2回幹事会(11月下旬頃・場所未定) 第1回常任幹事会・第1回幹事会(4月20日 ; 東京理科大学神楽坂キャンパス) 第2回常任幹事会(7月 ; 化学会館) 第3回常任幹事会・第2回幹事会(10月 ; 化学会館)	北海道支部 北海道支部 関東支部 関東支部 関東支部

表 6・4 平成 30 年度事業計画（その 4）

事業の名称・事業の概要	担当組織
法人運営関連会議(つづき)	
支部関連 第4回常任幹事会(12月；化学会館) 常任幹事会(2月17日；名古屋) 支部総会(11月3日；名古屋大学) 支部奨励賞選考委員会(4月；メール会議) 協会賞等支部推薦委員会(日時・場所未定) 第1回幹事会(3月上旬頃、大阪科学技術センター) 第2回幹事会(4月下旬頃、場所未定) 第3回幹事会(7月下旬頃、場所未定) 第4回幹事会(11月頃、場所未定) 平成30年度第1回幹事会・懇話会合同会議(5月；岡山大学) 平成30年度第2回幹事会・懇話会合同会議(11月；広島大学) 事務引継会(1～2月；九州大学) 第1回幹事会(5月11日；九州大学馬出キャンパス) 第2回幹事会(11月；場所未定)	関東支部 東海支部 東海支部 東海支部 東海支部 関西支部 関西支部 関西支部 関西支部 中国四国支部 中国四国支部 九州山口支部 九州山口支部 九州山口支部

報告 3 平成 30 年度収支予算

平成 30 年度予算を表 7・1～7・3 に示す。従来との主な差は以下の通り。

- 1) 新規講習会事業；「AI 研究部会」、新規懇談会事業；「AI 公開講演会」を計上。
- 2) 企業冠賞の賛同企業が 3 件から 5 件に増えた。
- 3) HP リニューアル費用(200 万円)を雑費へ計上。
- 4) 昨年より常務理事・事務局長が会員企業からの出向者であるため、俸給が原籍企業と折半となっている。

表 7・1 平成 30 年度正味財産増減予算書

平成 30 年 1 月 1 日から平成 30 年 12 月 31 日まで

科 目	平成30年度 A	【参考】平成29年度		増減 D A-B	増減 E A-C
		予算 B	決算 C		
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
【特定資産運用益】					
特定資産受取利息	774,000	794,000	802,492	▲ 20,000	▲ 28,492
退職給付特定資産受取利息	3,500	4,000	3,306	▲ 500	194
【受取会費】					
正会員受取会費	68,511,860	68,579,274	69,857,000	▲ 67,414	▲ 1,345,140
【事業収益】					
編集出版事業収益	15,113,000	15,630,000	15,218,900	▲ 517,000	▲ 105,900
研究会事業収益	36,230,000	32,834,000	32,667,406	3,396,000	3,562,594
表彰事業収益	8,150,000	5,350,000	5,500,000	2,800,000	2,650,000
【受取寄付金】					
受取寄付金	6,690,000	6,660,000	5,977,635	30,000	712,365
【雑収益】					
受取利息	6,265	9,850	775	▲ 3,585	5,490
雑収益	220,000	100,000	105,780	120,000	114,220
懇親会参加料収益	3,740,000	3,010,000	4,257,800	730,000	▲ 517,800
経常収益計	139,438,625	132,971,124	134,391,094	6,467,501	5,047,531
(2) 経常費用					
【事業費および管理費】					
編集出版事業費	26,306,605	26,240,855	26,627,855	65,750	▲ 321,250
研究会事業費	32,323,670	30,113,573	28,108,157	2,210,097	4,215,513
表彰事業費	14,448,657	12,000,407	10,484,795	2,448,250	3,963,862
給料手当	28,410,735	28,654,980	29,003,838	▲ 244,245	▲ 593,103
アルバイト費	2,450,000	2,410,000	2,448,302	40,000	1,698
退職給付費用	3,000,000	2,300,000	2,303,306	700,000	696,694
退職金支出	0	3,480,000	0	▲ 3,480,000	0
その他人件費（福利厚生費）	5,800,000	6,237,118	5,856,980	▲ 437,118	▲ 56,980
会議費	1,335,000	1,675,000	976,105	▲ 340,000	358,895
旅費交通費	3,605,000	3,805,000	4,037,593	▲ 200,000	▲ 432,593
通信費	1,356,000	1,356,000	1,251,384	0	104,616
什器備品費	300,000	170,000	189,108	130,000	110,892
事務用品・リース費	1,900,000	1,900,000	2,077,342	0	▲ 177,342
水道光熱費	290,000	290,000	256,598	0	33,402
事務所賃借料	4,367,000	4,367,000	4,367,520	0	▲ 520
諸謝金	1,200,000	1,100,000	1,197,720	100,000	2,280
懇親会費	7,310,000	6,000,000	7,405,723	1,310,000	▲ 95,723
雑費（税・手数料・会費・IT）	6,714,500	4,744,500	5,583,783	1,970,000	1,130,717
経常費用計	141,117,167	136,844,433	132,176,109	4,272,734	8,941,058
当期経常増減額	▲ 1,678,542	▲ 3,873,309	2,214,985	2,194,767	▲ 3,893,527
2. 経常外増減の部					
経常外収益	0	0	0	0	0
経常外費用	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
一般正味財産増減額	▲ 1,678,542	▲ 3,873,309	2,214,985	2,194,767	▲ 3,893,527
一般正味財産期首残高	303,490,954	301,275,969	301,275,969	2,214,985	2,214,985
一般正味財産期末残高	301,812,412	297,402,660	303,490,954	4,409,752	▲ 1,678,542
II 指定正味財産増減の部					
【特定資産運用益】野依賞基金					
特定資産受取利息	400	400	30	0	370
受取寄付金	4,000,000	4,000,000	4,000,000	0	0
一般正味財産への振替額	▲ 4,000,000	▲ 4,000,000	▲ 2,808,089	0	▲ 1,191,911
当期指定正味財産増減額	400	400	1,191,941	0	▲ 1,191,541
指定正味財産期首残高	4,971,213	3,779,272	3,779,272	1,191,941	1,191,941
指定正味財産期末残高	4,971,613	3,779,672	4,971,213	1,191,941	400
【特定資産運用益】Mukaiyama Award基金					
特定資産受取利息	1,500	1,500	121	0	1,379
受取寄付金	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	▲ 1,600,000	▲ 1,600,000	▲ 1,501,546	0	▲ 98,454
当期指定正味財産増減額	▲ 1,598,500	▲ 1,598,500	▲ 1,501,425	0	▲ 97,075
指定正味財産期首残高	10,503,886	12,005,311	12,005,311	▲ 1,501,425	▲ 1,501,425
指定正味財産期末残高	8,905,386	10,406,811	10,503,886	▲ 1,501,425	▲ 1,598,500
III 正味財産期末残高	315,689,411	311,589,143	318,966,053	4,100,268	▲ 3,276,642

表 7・2 平成 30 年度正味財産増減予算書内訳表(1 / 2)
(平成 30 年 1 月 1 日から平成 30 年 12 月 31 日まで)

科 目	公益目的事業会計				その他事業	法人会計	合 計
	公 1 編集・出版	公 2 研究会	公 3 表 彰	公益事業共通			
1 【一般正味財産増減の部】							
2 * 1. 経常増減の部							
3 経常収益計	15,121,000	34,756,000	13,360,000	54,124,369	5,775,356	16,301,900	139,438,625
4 特定資産運用益	8,000	6,000	760,000	0	0		774,000
5 編集出版特定資産受取利息	8,000						
6 研究会特定資産受取利息		6,000					
7 表彰特定資産受取利息			760,000				
8 退職特定資産受取利息	0	0	0	0	0	3,500	3,500
9 受取会費				54,124,369	2,055,356	12,332,135	68,511,860
10 個人会員費受取会費				28,449,369	1,080,356	6,482,135	36,011,860
11 法人会員費受取会費				23,399,800	888,600	5,331,600	29,620,000
12 団体会員費受取会費				126,400	4,800	28,800	160,000
13 学生会員費受取会費				2,148,800	81,600	489,600	2,720,000
14 事業収益	15,113,000	33,660,000	7,000,000	0	3,720,000		59,493,000
15 編集出版事業収益	15,113,000						15,113,000
16 会誌事業収益	4,140,000						4,140,000
17 広告事業収益	9,600,000						9,600,000
18 別冊事業収益	100,000						100,000
19 会誌関係雑収益	0						0
20 単行本印税収益	1,000,000						1,000,000
21 複写権使用料収益	273,000						273,000
22 研究会事業収益		33,660,000			2,570,000		36,230,000
23 シンポジウム事業収益		17,380,000					17,380,000
24 講習会事業収益		12,140,000					12,140,000
25 懇談会事業収益		3,890,000			420,000		4,310,000
26 見学会事業収益		250,000			2,150,000		2,400,000
27 表彰事業収益			7,000,000	0	1,150,000		8,150,000
28 企業冠賞事業収益			7,000,000	0			7,000,000
29 研究企画賞事業収益					1,150,000		1,150,000
30 その他表彰事業収益							0
31 寄付金収益		1,090,000	5,600,000	0		0	6,690,000
32 受取寄付金		1,090,000	5,600,000	0			6,690,000
33 雑収益		0				3,966,265	3,966,265
34 受取利息		0				6,265	6,265
35 雑収益		0				220,000	220,000
36 懇親会参加料収益						3,740,000	3,740,000
37 経常費用	45,378,301	53,557,394	20,085,726		5,294,473	16,801,274	141,117,168
38 事業費	45,378,301	53,557,394	20,085,726		5,294,473		124,315,894
39 編集出版事業費	26,306,605						26,306,605
40 印刷製本費	11,544,400						11,544,400
41 用紙費	3,944,990						3,944,990
42 原稿料・校正費	878,000						878,000
43 編集費	843,715						843,715
44 送達費	7,913,500						7,913,500
45 別冊作成費	300,000						300,000
46 電子出版費	882,000						882,000
47 研究会事業費		29,935,670			2,388,000		32,323,670
48 シンポジウム費		16,838,200					16,838,200
49 講習会費		5,953,197					5,953,197
50 懇談会費		3,782,673			238,000		4,020,673
51 見学会事業費		250,000			2,150,000		2,400,000
52 研究会会議費		133,600					133,600
53 事務委託費		2,543,000					2,543,000
54 支払寄付金		435,000					435,000
55 表彰事業費			14,392,757		55,900		14,448,657
56 表彰事業費			2,862,257				2,862,257
57 企業冠賞費用			5,930,500				5,930,500
58 研究企画賞費					55,900		55,900
59 国際賞費用			4,000,000				4,000,000
60 Mukaiyama Award事業費			1,600,000				1,600,000
61 給料手当	9,940,916	11,364,294	2,841,074		1,423,378		25,569,662
62 アルバイト費	952,560	1,088,780	272,195		136,465		2,450,000
63 退職給付費用	1,049,700	1,200,000	300,000		150,300		2,700,000
64 その他人件費（福利厚生費）	2,029,420	2,320,000	580,000		290,580		5,220,000
65 会議費	195,000	292,500	65,000		32,500		585,000
66 旅費交通費	588,000	882,000	196,000		98,000		1,764,000
67 通信費	360,000	540,000	120,000		60,000		1,080,000
68 什器備品費	90,000	135,000	30,000		15,000		270,000
69 事務用品・リース費	570,000	855,000	190,000		95,000		1,710,000
70 水道光熱費	87,000	130,500	29,000		14,500		261,000
71 事務所賃借料	1,310,100	1,965,150	436,700		218,350		3,930,300
72 雑費（税・手数料・会費・IT）	1,899,000	2,848,500	633,000		316,500		5,697,000

表 7-3 平成 30 年度正味財産増減予算書内訳表(2/2)

(平成 30 年 1 月 1 日から平成 30 年 12 月 31 日まで)

科 目	公益目的事業会計				その他事業	法人会計	合 計
	公 1 編集・出版	公 2 研究会	公 3 表 彰	公益事業共通			
73 管理費						16,801,274	16,801,274
74 給料手当						2,841,074	2,841,074
75 退職給付費用						300,000	300,000
76 その他人件費 (福利厚生費)						580,000	580,000
77 懇親会費用						7,310,000	7,310,000
78 会議費						750,000	750,000
79 旅費交通費						1,841,000	1,841,000
80 通信費						276,000	276,000
81 什器備品費						30,000	30,000
82 事務用品・リース費						190,000	190,000
83 水道光熱費						29,000	29,000
84 事務所賃借料						436,700	436,700
85 諸謝金						1,200,000	1,200,000
86 雑費 (税・手数料・会費・IT)						1,017,500	1,017,500
87 当期経常増減額	▲ 30,257,301	▲ 18,801,394	▲ 6,725,726	54,124,369	480,883	▲ 499,374	▲ 1,678,543
88 2. 経常外増減の部							
89 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0
90 計上外費用	0	0	0	0	0	0	0
91 当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
92 3. 一般正味財産増減額							
93 一般正味財産期首残高							303,490,954
94 一般正味財産期末残高							301,812,411
95 当期一般正味財産増減額							▲ 1,678,543
96 【指定正味財産増減の部】							
97 1. 高砂香料国際賞「野依賞」基金							
98 指定正味財産運用益			400				400
99 特定資産受取利息			400				400
100 受取寄付金			4,000,000				4,000,000
101 一般正味財産への振替額			▲ 4,000,000				▲ 4,000,000
102 指定正味財産期首残高			4,971,213				4,971,213
103 指定正味財産期末残高			4,971,613				4,971,613
104 2. Mukaiyama Award基金							
105 指定正味財産運用益			▲ 1,598,500				▲ 1,598,500
106 特定資産受取利息			1,500				1,500
107 受取寄付金							0
108 一般正味財産への振替額			▲ 1,600,000				▲ 1,600,000
109 指定正味財産期首残高			10,503,886				10,503,886
110 指定正味財産期末残高			8,905,386				8,905,386
111 【正味財産期末残高】							
112 正味財産期末残高							315,689,410

報告 4 永年会員昇格者

会員規程第 4 条により、満 75 歳で 20 年連続在籍者を 30 年度より永年会員とする(入会順 ; 敬称略)。

小倉 克之 坪井 彦忠 宮原 英毅 長尾 幸徳 今本 恒雄 小野 昇 山本 嘉則
 宮下 正昭 佐藤 史衛 山岸 敬道 井原 正隆 浜中 信行 小松 紘一 光藤 武明
 原田 宣之 鈴木 國夫 山崎 哲郎 早川 勇夫 以上 18 名

その他 事案があれば挙手の上ご報告ください。

以上

【参考資料】

付表1 平成29年度決算の構成

科 目	連結	本部	支部会計					九州・山口
			北海道	東北	関東	東海	中国・四国	
1 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
2. (1) 経常収益								
3. 【特定資産運用益】 特定資産受取利息	802,492	802,492						
4. 【特定資産運用益】 特定資産受取利息	3,306	3,306						
5. 【特定資産運用益】 特定資産受取利息	69,857,000	69,857,000						
6. 【特定資産運用益】 特定資産受取利息	15,218,900	15,218,900						
7. 【特定資産運用益】 特定資産受取利息	32,667,406	14,764,720			2,543,773		835,313	64,000
8. 【特定資産運用益】 特定資産受取利息	5,500,000	5,500,000						
9. 【特定資産運用益】 特定資産受取利息	5,977,635	4,527,635						
10. 【受取寄付金】	775	514			92			
11. 【雑収益】	105,780	35,780		34				600,000
12. 【雑収益】	4,257,800	2,534,000						28
13. 【雑収益】	134,391,094	113,244,347		34	841,500		71,000	301,800
14. 経常収益計	26,627,855	26,627,855		34	3,385,365		1,266,329	965,828
15. (2) 経常費用【事業費・管理費】	25,196,798	6,971,286		214,383				
16. 研究事業費	2,562,059	2,562,059						
17. 事務委託費	349,300	125,000						
18. 支払寄付金	10,484,795	10,176,853		100,000				
19. 表彰事業費	29,003,838	29,003,838						
20. 給付手当	2,448,302	2,448,302						
21. アルバイト費	5,856,980	5,856,980						
22. その他人件費	2,303,306	2,303,306						
23. 退職給付費用	7,405,723	4,264,974						
24. 懲罰会費	976,105	591,488						
25. 会費	4,037,593	2,563,589						
26. 旅費交通費	1,251,384	1,188,571						
27. 通信費	189,108	189,108						
28. 什器備品費	2,077,342	2,077,342						
29. 事務用品・リース費	256,598	256,598						
30. 水道光熱費	4,367,520	4,367,520						
31. 事務所賃借料	1,197,720	1,197,720						
32. 諸謝金	5,583,783	5,336,380						
33. 雑費	132,176,109	105,516,710		2,820				
34. 経常費用計	2,214,985	7,727,637		433,388	4,627,203		15,787,951	1,852,058
35. 経常増減額	0	0		▲ 433,354	▲ 1,241,838		▲ 311,314	▲ 866,230
36. 当期待増減額	0	0		0	0		0	0
37. 2. 経常外増減の部	0	0		0	0		0	0
38. 経常外収益	0	0		0	0		0	0
39. 経常外費用	0	0		0	0		0	0
40. 当期経常外増減額	0	0		0	0		0	0
41. 3. 内部取引(他会計振替額)	0	0		0	0		0	0
42. 本部会計への繰入額	0	400,000			▲ 400,000			
43. 事務委託費(関東支部会計より)	0	400,000			▲ 400,000			
44. 繰入額計	0	400,000			▲ 400,000			
45. 本部会計からの繰出額(支部会計へ)	0	0			0			
46. 支部割当金	0	6,853,000		499,000	1,771,000		759,000	759,000
47. 若手セミナー討論会	0	840,000		120,000	120,000		120,000	120,000
48. 有機合成化学セミナー	0	550,000						
49. 新春アワード	0	210,129			210,129			
50. 繰出額計	0	8,453,129		619,000	879,000		879,000	879,000
51. 一般正味財産増減額	2,214,985	▲ 325,492		▲ 49,382	▲ 424,621		▲ 47,913	12,770
52. 一般正味財産増減額	301,275,969	275,654,278		3,698,525	2,232,619		1,738,536	2,911,518
53. 一般正味財産増減額	303,490,954	275,328,786		3,649,143	2,101,717		1,690,623	2,924,288
54. II 指定正味財産増減の部								
55. 高砂香料国際賞「野依義一」基金								
56. 【特定資産運用益】								
57. 特定資産受取利息	30	30						
58. 受取寄付金	4,000,000	4,000,000						
59. 一般正味財産への繰出額	▲ 2,808,089	▲ 2,808,089						
60. 当期指定正味財産増減額	1,191,941	1,191,941						
61. 指定正味財産増減額	3,779,272	3,779,272						
62. 指定正味財産増減額	4,971,213	4,971,213						
63. Mukaiyama Award基金								
64. 【特定資産運用益】								
65. 特定資産受取利息	121	121						
66. 受取寄付金	▲ 1,501,546	▲ 1,501,546						
67. 一般正味財産への繰出額	▲ 1,501,425	▲ 1,501,425						
68. 当期指定正味財産増減額	12,005,311	12,005,311						
69. 指定正味財産増減額	10,503,886	10,503,886						
70. 指定正味財産増減額	318,966,053	290,803,885		4,100,813	9,058,279		4,637,305	1,690,623
71. III 正味財産増減の部								